



津市一身田町2843  
高田中・高等学校内  
樹心会事務局  
電話 059-232-2442



ご挨拶  
同窓会会長  
佐脇 功

皆様には、お変わりなくお元気で活躍のことと存じ、お慶び申し上げます。  
日頃は同窓会の振興、母校の発展にご理解ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。  
母校の近況は、学苑長先生をはじめ



ご挨拶  
学苑長  
高臣 文祥

同窓の皆様にはお元気で活躍のこととお慶び申し上げます。  
私は、昨年から学苑長に就任いたしましたので、昨年からは中高の校長も兼務しておりましたが、今年から中高の校長職を梅林校長に託しまして学苑長としての職務に専念することになりました。  
先般、三月十一日に発生した東日本大震災は、想像を絶する規模の地

震と津波でありました。そして、岩手、宮城、福島に甚大な被害をもたらしました。被災者の皆様には心からお見舞いを申し上げます。今後、被災地の一丸となって努力しなげればなりません。その上、原発事故の後遺症は深刻で、改めて私たちの生活とエネルギーの問題を考え直さなければならぬ状況に直面しています。私たちは被災された地域への支援に継続的に取り組んでいくと共に、学苑生活の中で、学生、生徒、教職員全体が細やかに気をつけて節電等に努めていかなければならないと考えています。

め先生方からご案内されています。教育環境の充実並びに進路指導・クラブ活動など教育内容の素晴らしさに深甚の敬意を表する次第であります。学苑長・学長・校長先生をはじめ諸先生方の学校愛に徹し、建学の精神を基盤にして、他校に追随を許さない教育への情熱の賜物と改めて深く感謝いたしますとともに在学中・在校生の勉学に対する真面目な取り組み、努力に敬意を表します。今般の「東日本大震災」により被災されました皆様には、心からお見舞い申し上げます。高田本山、真宗

高田派十萬人講から大変な多額の災害義援金が寄託されました。同窓会からも義援金百万円を寄託しました。福島県内には真宗高田派の末寺が十箇寺程と承っております。  
さて、永年にわたって同窓会事務局長として本会の振興にご尽力いただきました山舖惠崇様(元高田中学校高次副校長)が、このたびご勇退されました。後任は、前川伸一様(昭和四十二年三月、高田高校卒)が務められています。前川伸一事務局長は昭和四十六年四月一日、四日市市立笹川中学校教諭として奉職され、平成二十一年三月三十一日、久居中学校で定年退職されるまで三十八年間、公立小中学校で教諭、教頭、校長として三重県教育のため尽瘁され、幾多の功績を挙げられました。日本の世界の女子レスリング界の頂点を極められた吉田沙保里選手は一志中学校教頭時代の教え子です。家城小学校校長、久居中学校校長としては地

域から信頼され期待される学校づくりに専念し敏腕をふるって大きな成果挙げられました。そして先生の円満なお人柄と真摯なご指導により幾多の有為な若者を育まれました。公立学校を定年退職後は母校で非常勤講師として、母校の後輩(生徒)の教育指導にあたりながら、本年四月から購買部長、同窓会事務局長の職を務められています。先生のこれまでの実績から同窓会の発展に貢献いただけるものと確信しています。  
学苑の現況は、発展隆盛の一途をたどっていますが、私学を取り巻く環境は厳しいものがあります。これまで学苑の発展と充実を旨として、今日を築き上げた歴代学苑長・学長・校長先生・諸先生方に敬意を表するとともに今後とも学苑を軸にして全教職員が更にご努力されることを祈念して、私たち同窓生は母校の一層の躍進を見守りたいと存じます。私たちは母校で学んだ建学の精神

「仏教精神を基として宗教的情操を培い、人間性豊かな社会人を育成する」、短大が教育理念に掲げる「広い視野をもったおらかで、やわらか心の社会人の育成」を心して、単に名声を求めただけでなく、少しでも社会に役立つよう励みたいものです。  
同窓会は、会員相互の親睦と連携を図り、母校に対する支援を目標に活動します。今後とも、ご理解ご協力をお願い申し上げます。  
本年度の総会・懇親会は、従来の慣例により七月三十一日(日)です。総会にむけて委員会、役員会で協議し、諸般の情勢を鑑みて津駅東口のホテルで開催いたします。お誘い合せで、多くの皆様にご参加されますようお願い申し上げます。

によりまして万全なものとなりました。今回の震災では猛烈な津波によるたくさんの犠牲者がました。東海、東南海、南海地震が連動して発生する可能性が切迫していると言われる中で、私たちは津波に対する認識と備えも十分しておく必要があると存じます。本学苑が地域住民の第一避難所に指定されていることから、生徒、学生のみならず近隣住民の皆さんの安全・安心に寄与できるように地震対策に取り組む所存です。  
学苑の現況につきましては学長、校長がそれぞれ報告いたしますのでご覧下さい。会計面はホームページでご確認下さい。  
現在のところ中高、短大ともに募集は順調で経営の状況も安定してい

送委託契約を結びました。これにより、学生の通学の便が大きく改善され、学生募集にも貢献するものと期待しています。  
学苑の姿は近年著しい変貌を遂げております。どうか同窓の皆さんが来校されまして今日の学苑を見ていただき、さらなる発展のためにご支援を賜りますことを切にお願いいたします。

短大ではスクールバス運行委託業務として津ドライブインバススクールの協力を得て、津駅から短大までの運





ご挨拶

中高校長  
梅林 久高

同窓の皆様におかれましては、お元気で活躍のこととお慶び申し上げます。

私は今年度より高臣前校長に変わり校長の職に任せられました。非力ではございますが、本学苑の歴史と伝統を継承し、さらなる発展のため精進する覚悟でおりますのでよろし



本年度の  
取り組み  
短大学長  
栗原 廣海

はじめに、この度の東日本大震災で被災され、尊い生命を失われた方々に衷心より哀悼の意を表しますと共に、今も避難生活を余儀なくされておられる皆様に、心よりお見舞いを申し上げます。

樹心同窓会会員の皆様には、日頃の本学の教育にご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

平成二十三年度が、子ども学科一五二名、人間介護福祉学科二十八名、オフィス人材育成学科六十六名、合計二四六名の新入生を迎えてスタート致しました。

本年度から、「オフィス情報学科」を「オフィス人材育成学科」と改称しました。旧学科名は、教育内容が情報教育中心との印象が強く、現実の教育内容との間に齟齬が生じてき

くご指導、ご支援をお願い申し上げます。

ご周知の通り、校舎の改築改修、西グラウンドの造成とすばらしい教育環境が整えられました。さらには本館、一号館（旧南館）のトイレも改修され高級感あふれ、ホテル並みと好評であります。こうした施設の充実と快適さのなかで、生徒達は生き生きと学習にクラブにと励んでいます。また、公共物を大切に利用する精神が育かれ、美観を保持することの大切を習慣化させています。今春、三年制が三五七名、六年制が二〇四名の合計五六一名が卒業。

ていまして、現在のカリキュラム・ポリシーとディプロマ・ポリシーに対応した名称に改称したものです。地域に貢献できる有為なオフィス人材を育成したいという学科の目的を、新しい学科名からつぶさに理解していただければと願っています。

平成二十二年、全国の大学・短大卒業生の就職は、厳しかった昨年をさらに下回り、過去最低の就職率となっております。本年四月一日現在、四大卒が九一・二％で昨年比〇・七ポイントの減、短大卒が八四・一％で、同四・二ポイントの減（女子学生のみのみ）となっております。このような中、本学は昨年同様、ほぼ一〇〇％の就職率を達成することができました。このような実績を上げることができ、申すに及ばず、同窓生の皆さまが地域社会に貢献され、高い評価を得ておられるおかげであります。心より感謝申し上げます。学内におきましては、昨年十月に雇用しましたキャリア・サポーターも協働し、「キャリア支援室」を中心に就職先を開拓するとともに、教職員が

現在是在校生が、中学生四一九名と高校生一四一五名に加えて中学生二〇二名と高校生三四四名の新入生を迎え、全体で二三八〇名が在籍しています。過速する少子化、長期化する経済情勢の悪化、さらには県立高校授業料無償化等の影響を受けて高校の募集が非常に厳しい状況のなかで、募集定数を確保できたことは嬉しく思います。これは本校の教職員一九〇名が、建学の精神に基づき一致団結・協力し合い生徒の教育に取り組んでいることのおかげであります。と共に同窓の皆様が築いて来られた伝統により、保護者の皆様や

一丸となって学生をサポートできたこと、そしてそれに学生が見事に応えてくれたおかげであったと喜んでいきます。

さて昨年、文部科学省の「平成二十一年度大学教育・学生支援推進事業」のうち、「テーマB」学生支援推進プログラムの「キャリア支援推進プログラム」に、「キャリアカレッジを用いた生涯就職支援システムの構築」というプログラムで応募し、採択されたこと、構築してきたシステムはまもなく実用の運びとなる旨、ご報告いたしました。その後数ヶ月の試用期間を経まして、本年度から「高短キャンパスネット」と、名称も新たに本格運用が始まりました。このシステムは、本学の教職員が一丸となって学生の学習やキャリア形成、就職活動等、学生生活全般に渡ってサービスに当たり、卒業後も就職等を生涯サポートしていくこと、本学のエンロールメント・マネジメントの核となるシステムです。このシステムを有効に利用して、学生支援をさらに推進していきたいと考えています。

地域の方々からも安心と信頼される学校であるとの評価によるものだと万謝申し上げます。

巨大地震による甚大な被害と福島原発の問題は、人生観を大きく変え、一日も早い復興と救済を願うのみです。本校も海抜四メートルの地にあり、津波対策を視野に入れた防災対策を考へなければなりません。同時に防災教育の推進と実践化が必要だと思っております。喫緊の課題が多いですが、今年度より本校独自の授業料等生徒納付金助成制度を新規事業に導入し、経済的支援を行うこととなりました。また県下私立学校九

六月二日から、本学の地域開放事業である、「おやこひろば たかたん」がスタートします。少子化や核家族化等により、地域全体で子育てを支援する必要があります。増してきています。昨今、本学も、付属教育研究施設の一つである「育児文化研究センター」の機能を生かして本学独自の子育て支援を展開すべく、「おやこひろば たかたん」を開設しました。幼稚園教諭免許と保育士資格をもち、子育て支援の実績がある二人の方に運営スタッフをお願いし、原則として、週二回、月曜日・木曜日の午前十時から十二時まで、約二時間開設する予定です。このひろばは、親や親子が交流し、活動する場であるとともに、子育て等に関する相談に応じ、援助する場でもあります。また、保育者養成の専門家である本学教員が中心となって、子育て等に関する講座を開設する予定です。子育てに取り組んでおられる同窓会会員の皆さんにも是非ご利用いただきたいと思っております。近所の方、お知り合いの方にもご紹介いただければ幸いです。

校共同で生徒のインターネットによるトラブルの未然防止や安全対策のためスクールガードイアンへ加入し、指導に生かそうとしているところで

進路状況や部活動でも大変優れた結果を残しています。この現状に甘んじることなく、危機意識を持ち、生徒一人一人の無限の可能性を育み逆境や苦難を乗り越える強い精神力と社会奉仕のできる人材を育て、保護者の方々に一層満足していただける教育に努力していく所存です。是非、来校くださることをお待ちしております。

幸いです。

本学は、積尊や親鸞聖人が歩まれた仏道を学ぶこととおして、あらゆるいのちの尊厳を知り、人間としてのあり方、生き方を考えることを教育の根幹にすべく、「仏教精神に基づく人間教育」を建学の精神としています。そしてこの精神のもと、「やわらか心の社会人の育成」を教育理念として掲げ、各学科で学修した専門知識や技術・技能を、損得、好き嫌いや思い込み、独りよがりを超えて、「やわらか心」で駆使することのできる保育者・介護福祉士・オフィスワーカーの育成を目指すとともに、本学ならではの仏教、子育て支援、介護福祉、ビジネス実務等に関する「知」のサービスを地域社会に提供し、地域の文化の発展と生涯学習環境の充実に寄与することを使命と考え、その遂行に全教職員が一丸となって取り組んでいるところです。

今後とも樹心同窓会会員の皆様には、変わらぬご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成23年度

### 高田学苑樹心同窓会総会

平成23年 7月31日(日) 午後 3時より  
ホテルグリーンパーク津 (アスト津内)  
6階 伊勢の間・安濃の間

- 総会・追弔会
- トークショー 吉田 沙保里 (レスリングメダリスト)
- 懇 親 会

※会費、3,000円当日受付で頂きます。  
※お車で越しの方はアスト津駐車場をご利用ください。

### 平成22年度高田学苑樹心同窓会決算報告書

収支決算書 (H22. 4. 1 ~ H23. 3. 31)

項 目	金 額
収入の部	
前年度繰越金	3,189,027
株式配当金 (中部電力)	457,560
株式配当金 (みずほフィナンシャルグループ)	29,760
同窓会入会金 (高校)	1,963,500
同窓会入会金 (短大)	721,000
総会会費	172,000
生徒会より丸筒代金	83,050
寄付金	50,000
預金利子	518
収 入 合 計	6,666,415

支出の部	
総会費	1,185,377
会議費	149,050
会報発行費	403,255
通信費	15,620
慶弔費	71,925
卒業記念品費 (高校)	231,800
卒業記念品費 (短大)	87,318
卒業証書入れ (丸筒)	83,050
同窓教職員歓送迎会補助金	250,000
事務消耗品費	59,535
雑費	92,715
支 出 合 計	2,629,645

収支差額次期繰越		4,036,770	
財産目録 (H23. 3. 31現在)			
		(円)	
項 目	金 額		
基本財産			
百五銀行定期預金	1,503,001		
百五銀行定期預金	2,010,738		
百五銀行定期預金	1,414,504		
	単価	時 価	
中部電力 8,200株(日興コーディアル証券)	1,850	15,170,000	
みずほフィナンシャルグループ 4,000株(日興コーディアル証券)	138	552,000	

## 新任教職員紹介

- 一、氏名
- 二、担当教科
- 三、担当部活動
- 四、趣味・特技
- 五、着任のことは

### 中・高等学校

- 一、伊藤和子
- 二、家庭科
- 三、硬式テニス部、家庭部
- 四、旅行、ゴルフ
- 五、本年四月より伝統ある高田学苑にお世話になることになり、身の引き締まる思いです。

- 一、上田 真弓
- 二、家庭

風にそよぐ緑の校樹に歴史を感じつつ、新校舎の完成、充実した教育施設など大変恵まれた環境の学び舎で生徒たちと活動を共にする喜びをかみしめております。すばらしい教育を進めておられる諸先生方に倣い、初心を忘れることなく研鑽に励む所存です。何かと不慣れなため、ご迷惑をおかけすることがあるかと思いますが、微力ながら精一杯努めさせていただきますので、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

- 三、家庭部
- 四、お菓子づくり、琴
- 五、この度、ご縁をいただき本学苑でお世話になることができ、心より感謝しております。

今まで勤務していた公立校とはちがう点も大きく、戸惑い、不安いっぱい四月当初でしたが、先生方の暖かいご指導により、少しずつ学校の様子もわかってきました。

新しい環境の中で、緊張感に満ちた毎を送りながら、生徒達とのふれあいに楽しみを感じられるようになってまいりました。

まだまだ未熟で至らない点多々ありますが、今後とも御指導のほどよろしくお願い致します。

- 一、奥田 啓太
- 五、今年度より理科の教員として教鞭をとらせていただいております奥田啓太です。部活動は、硬式テニス部の顧問をさせていただきます。

前年度までは大学院で地球化学という分野を専攻してまいりました。具体的には、今から約五十年前に行われた核実験によって放出された放射性炭素が地球の気候循環によってどのように移動されたかということを研究してまいりました。このような話題も授業などで取り上げ、生徒の理科に関する興味を喚起できたら良いと考えています。簡単な自己紹介となりましたが、高田学苑の発展に寄与できるよう精進してゆく所存でございます。

で今後とも宜しくお願い致します。

- 一、川端 元氣
  - 二、中学社会、高校地理・歴史
  - 三、中学・高校柔道部
  - 四、寺社・史跡巡り、スポーツ観戦
  - 五、本年度より高田学苑で教鞭を執らせていただくこととなり、大変光栄に思っております。
- 高校卒業以来、七年振りに再び学苑でお世話になる運びとなりました。目を瞠るばかりに新しくなった校舎や設備に驚きつつも、以前と変わらない学苑の温かい雰囲気包まれながら、日々過ごしております。
- まだまだ未熟ではありますが、常に愛情をもって、生徒のことを第一に考えるという姿勢を崩さず

職務にあたる所存です。今後ともご指導ご鞭撻の程、宜しくお願ひ申し上げます。

一、北岡 亜耶

二、保健体育

三、中学陸上部

四、スポーツ観戦、映画鑑賞

五、本年度より、歴史と伝統のある

高田学苑でお世話になることができ、大変嬉しく感謝致しております。着任して約二ヶ月が過ぎ、先生方の暖かいご指導のもと、教科指導や部活動指導など試行錯誤を繰り返しながら、私自身が勉強させていたいただいています。保健体育の教員として、生涯スポーツに繋がるような魅力ある授業が展開できるよう研究し、また、学校生活全般において、生徒一人一人と真剣に向き合っていくたいと思ひます。

まだまだ至らない点が多く、ご迷惑をお掛けすることもありますが、今後ともご指導の程よろしくお願ひ致します。

一、紀平のり子

二、国語

三、なし

四、シヨッピング、旅行

五、このたびご縁があつて高田学苑

でお世話になることとなり、大変

嬉しく思っております。

着任から二ヶ月、まだまだとま

どろことが多く日々ですが、教職

員のみなさまに温かく支えていた

だき感謝しております。

歴史と伝統のある学苑で、施設

設備も充実した素晴らしい教育環

境の中で共に学ぶことができ喜びを感じております。微力ながら努力して参りますので、今後とも

一、久世 智美

二、数学科

三、中学校卓球部

四、旅行、買い物、ピアノ

五、本年度より縁あつてこの高田学

苑にお世話になることになりました。数学科の久世です。大きくきれいな校舎、整った設備、このような素晴らしい環境で働けることを本当に嬉しく思っております。卒業生でもない私は、大勢の先生方や広い校舎に、最初は戸惑いばかりの毎日でした。しかし、周りの親切な先生方や素直な礼儀正しい生徒に助けられて、ようやくこの学校にも慣れてきました。このような素晴らしい環境の中で働けることに感謝し、授業や部活動において自分のできることを見つけ、精一杯努力し頑張つていきたいと考えております。

勉強や部活動、また友人関係など、日々さまざまなことを経験し成長していく生徒たち。生徒と先生という関係ではありますが、一緒に学び、一緒に悩みながら、その中で少しでも影響を与えることができるよう、教師として私も生徒たちとともに、この学苑で成長していきたいと考えております。どうぞよろしくお願ひします。

一、杉村 貴代

二、理科実験助手

三、なし

四、シヨッピング、料理

五、本年から御学苑でお世話になる

ことになりました。理科の実験を

通して、生徒の皆さんと一緒に勉

強させて頂く事を、楽しみにして

参りました。精一杯頑張りたいと思

いますので、どうぞ宜しくお願

ひ致します。

一、杉本 和世

二、英語

三、中学男子ソフトテニス部、中高美術部

四、映画鑑賞、水泳、海外旅行

五、本年度より、歴史と伝統ある母

校・高田学苑にて教鞭を取らせて頂くことになり、嬉しく思うと共にご縁に感謝を致しております。着任から早二ヶ月が経過しましたが、不慣れなことばかりで、学苑生活の随所におきまして恩師の先生方をはじめ、温かいご指導を賜りながら勉強と反省の毎日を送っております。微力ながらも学苑の今後の発展に貢献出来るよう精進して参りますので、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願ひ申し上げます。

一、竹屋エリ子  
二、保健体育  
三、高校水泳部  
四、ダンス、バドミントン、ドライブ  
五、本年度から伝統ある本学苑でお世話になることができ、大変感謝しております。

一、藤山 真澄

二、英語

三、バレエボール(中学)

四、音楽鑑賞、読書、買い物

五、本年度より母校であります本学

苑でお世話になることになりました。

大変嬉しく思うと同時に非常に

身の引き締まる思いです。

一、前村 治美

二、化学

三、家庭菜園、孫九人との旅行、俳句(結社「対岸」に所属)、短歌(結社「金雀枝」に所属)

四、皇學館・セントヨゼフ・高田と私立三校の教壇に立てたことを誇りに思ふ。

着任して二ヶ月が経ちますが、いろんな先生方にたくさんのお話を指導していただき本当に有難く思っております。本学苑に来させて頂く前は津工業高校、稲生高校として津西高校と公立高校に勤務しておりました。そういった今までの経験を基に、微力ながら本学苑のお役に立てるよう、精一杯努力してまいりますのでよろしくお願ひします。

一、バルマ・ピシャル

二、英語

三、英語クラブ

四、登山、旅行

五、始めまして、大変お世話になっ

ています。高田の生徒たちは授業中静かにしていますが、廊下で会うと明るく話してくれます。皆さんともっと英語や日本語で話すのが楽しみです。これから頑張りますので、どうぞよろしくお願ひします。

一、藤山 真澄  
二、英語  
三、バレエボール(中学)  
四、音楽鑑賞、読書、買い物  
五、本年度より母校であります本学苑でお世話になることになりました。大変嬉しく思うと同時に非常に身の引き締まる思いです。

一、村野 温志

二、高校部数学科非常勤講師

五、本校の建学の精神として、「豊かな人間性を育成すること」とあります。

私も今まで「教育は人なり」を

モットーとして、教育に、そして

生徒たちに関わってきました。非

常勤ですが、授業を通して、数学

を通して生徒たちの豊かな人間性

の育成を目指していきたいと思

います。

また、今まで高校野球に深く関

与っています。

わってきました。高田高校野球部の選手諸君が、素晴らしい顧問の先生方の指導のもと、野球を通して人間として大きく成長し、高田高校を、三重県の高校野球を引っ張って行ってくれることを期待しています。

人のじいちゃんです。前任の小黒さんの足元にも及びませんが、一生懸命がんばって、やらせていただきます。宜しく御願います。

### 短大

一、片岡亜里紗

二、本部総務課

三、なし

四、ダンス、カラオケ 玉ねぎの細切り

五、この三月に高田短期大学を卒業し、四月から高田学苑でお世話になることができ、とても嬉しく思っています。私は、大学に入ってからずっと高田学苑で働きたいと思っていましたので、本当に働ける日が来て夢みたいです♡

まだまだ分からないことや迷惑かけることがたくさんあると思いますが、一生懸命頑張りますのでどうぞよろしくお願います。

一、篠木 信三

二、学苑本部

五、はじめまして、学苑本部に採用していただきました、篠木信三です。今年秋、六十歳になり、孫二

一、阿部 慶子

二、事務局教務課

三、なし

四、野菜作り、旅行、水彩画

五、一昨年三月、四日市市役所を定年退職し、畑仕事をされる傍ら、絵本の読み聞かせや地域子育て支援に関わっておりますが、この度ご縁があり、母校でお世話になっております。

「たった一度の人生・やり直しのできない今日・取り替えのきかない私」という言葉をモットーとして、新しい出会いを大切にしながら、日々の生活に感謝し、自分らしく何事にも取り組んでいきたいと思っております。どうぞよろしくお願います。

一、金信 昌樹

二、仏教学Ⅰ、同Ⅱ、生活文化、仏教保育、東洋仏教史、日本仏教史

三、音楽鑑賞、映画鑑賞、模型製作。卓球、水泳、野球。

四、人間介護福祉学科の特任教授としてお世話になります。仏教学Ⅰ・Ⅱ、仏教保育、東洋仏教史、日本仏教史を担当しております。

学生が少しでも仏教の精神に触れ、それを通して豊かな心を育ませられるよう努めていきたいと思っております。又、仏教の歴史を通して、教える伝える者の志や教えが伝わることの大切さを知ってもらえるよう努めていきたいと思っております。

一、野呂 健一

二、国語表現法、文書作成、言葉とコミュニケーション、ビジネスリテラシー演習、プレゼンテーション

三、なし

四、読書、美術館巡り

五、この四月から高田短期大学オフィス人材育成学科でお世話になることができ、大変嬉しく、また光栄に感じております。

昨年度末までは、行政職員として勤務する傍ら大学院で日本語学・言語学を研究しておりました。大学等での教育経験はありませんが、誠実さと熱意をもって、職務に励みたいと思っております。また、学生には、主体的な学びを通じて、自分の意見や考えを適切に相手に伝えられる、真のコミュニケーション能力を身につけてもらいたいと考えております。

一、増亦 浩一

二、学生課

三、軽音楽部副顧問

四、音楽活動 トロンボーン演奏(主にビッグバンドジャズ)

五、四月一日から高田短期大学学生課にお世話になっております。

私は昭和四十七年三月(昭和四十六年度)高田高校卒業生でブラズバンドに所属しておりました。当時は栢植宗隆先生と高臣文祥先生にクラブ顧問をしていただいております。私たちの先輩はコンクールで常に優秀な成績をおさめていたのですが、私の代では伝統を維持できず、心残りです。

一、柳瀬 慶子

二、幼児体育、身体表現指導法

三、なし

四、ダンス鑑賞、旅行

五、本年度より、伝統ある高田短期大学子ども学科に赴任させていただきます。嬉しく思っております。着任して数カ月、「子どもが夢中になる運動遊び」を、まずは授業で学生の皆さんと共に創り、体感することを大切にしております。そして、子どもが他者と豊かにつながり合えるような運動遊びの実践力育成を目指して、微力ではありますが、保育者養成に尽力して参りたいと思っております。

今後とも、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願ひ申し上げます。

## 進路指導

### 進路指導部

平成22年度生は、3年制Ⅰ類が177名、Ⅱ類が180名、6年制が204名、計561名が卒業しました。

平成23年度入試の合格者数と就職決定先を既卒者を含め、次表の結果を得ましたので報告致します。東京大学8名、京都大学8名と昨

年より合格者は減少しましたが、医学部医学科には80名(国公立大学医学部医学科に39名)が合格しました。三重大学医学部の合格者数は21名でした。

今後とも同窓会会員の皆様のご声援をよろしくお願ひ致します。

### 三年制コース

大学・短大・専門学校名	合格人数
北見工業	1
三重	8
広島	1
富山県立	1
三重県立看護	3
大阪市立	1
大阪府立	1
奈良県立	1
酪農学園	1
埼玉工業	1
千葉科学	1
亜細亜	1
杏林	1
慶應義塾	1
国土館	1
駒澤	3
成蹊	1
専修	1
多摩美術	1
帝京	1
東海	2
日本	3
法政	2
武蔵野美術	1
明治学院	2
ヤマザキ学園	2
金沢医科	1
金沢工業	1
福井工業	1
山梨学院	2
岐阜経済	1
岐阜聖徳学園	1
名古屋学芸	2
愛知	7
愛知学院	17
愛知工業	6
愛知淑徳	10
金城学院	10
相山女子学園	2
大同	2
中京	25
至学館	3
中部	20
名古屋外国語	10

# 中・高部活動

## 中・高柔道部

現在、部員は高校6年生男子2人、Ⅲ年生男子1人、5年生男子1人

人、Ⅱ年生男子2人、4年生男子1人、Ⅰ年生男子4人、中学校1年生男子1人の中高合わせて12人で活動し

ています。文武両道はさることながら「一生懸命」「辛抱」をテーマに部員一同、力を合わせて頑張っています。

決めた。また、Ⅰ年生でもベスト16に勝ち残る選手が出てきたり、団体でも1回戦で6年生の実義徳真による一本勝ちでチームの勝ちを決めるなど、心身の鍛錬に加え、公式戦で勝利する力を個々がつけてきています。今後さらに高い目標を持ち、高

## 中・高剣道部

3月、東日本大震災により、沢山の尊い命が奪われ、多くの方々が被

田の名前を広められるよう部員一同精進してまいりますので今後ともよろしくお願いたします。

大学・短大・専門学校名	合格人数
東京女子医科	2
東京農業	2
東京理科	24
日本	4
日本医科	1
法政	2
東京都市	1
明治	19
立教	4
早稲田	38
麻布	1
金沢医科	2
朝日	1
愛知	1
愛知学院	7
愛知医科	4
金城学院	2
相山女学園	4
中京	8
中部	1
名古屋商科	2
藤田保健衛生	10
南山	23
名城	15
皇學館	2
鈴鹿医療科学	4
京都外国語	1
京都女子	4
京都薬科	8
同志社	51
同志社女子	6
立命館	53
龍谷	3
京都文教	2
大阪医科	1
大阪薬科	6
関西	18
関西医科	1
関西外国語	1
近畿	7
関西学院	15
甲南	2
神戸学院	1
神戸薬科	4
兵庫医科	3
武庫川女子	1
川崎医科	2
福岡	1
文化服装学院	1

## 三年制コース就職

企業名等	人数
三重県警察	2
陸上自衛隊	1
株式会社 横山食品	1
三重交通 株式会社	1
藪建設 株式会社	1

## 国公立大学合格者人数

コース	人数
三年制コース	17名
六年制コース	136名



大学・短大・専門学校名	合格人数
伊勢保健衛生専門学校	1
専門学校 名古屋医専	1
東海医療科学専門学校	1
東洋医療専門学校	1
愛知工業大学情報電子専門学校	1
旭理容美容専門学校	1
音楽専門学校 ミューズ音楽院	1
関美学園 関西美容専門学校	1
行信仏教学院	1
専門学校 HAL名古屋	1
専門学校 トヨタ名古屋自動車大学校	2
専門学校 日産愛知自動車大学校	1
専門学校 名古屋デザイナー学院	2
代々木アニメーション学院名古屋校	2
大川学園 三重調理専門学校	1
電波学園 名古屋工学院専門学校	1
名古屋コミュニケーション専門学校	1
名古屋ビジュアルアーツ専門学校	1
名古屋ビューティアート専門学校	1
セントラルミズーリ州立大学	1

## 六年制コース

大学・短大・専門学校名	合格人数
筑波	1
東京	8
東京医科歯科	1
東京外国語	2
東京学芸	1
東京工業	2
東京農工	1
横浜国立	4
富山	1
金沢	2
福井	3
信州	1
静岡	1
名古屋	15
名古屋工業	4
三重	29
滋賀	1
滋賀医科	1
京都	8
大阪	10
神戸	5
奈良女子	1
広島	1
徳島	1
九州	1
宮崎	1
鹿児島	1
琉球	1
愛知県立芸術	2
名古屋市立	3
大阪市立	2
大阪府立	5
神戸市外国語	1
九州歯科	1
航空保安大学校	1
自治医科	1
明海	1
青山学院	5
慶應義塾	17
國學院	2
国士館	8
芝浦工業	1
順天堂	4
上智	6
昭和	3
昭和薬科	1
成蹊	1
中央	29
津田塾	1
帝京	4
東海	1
東京医科	1
東京工科	1
東京慈恵会医科	3

大学・短大・専門学校名	合格人数
名古屋学院	7
名古屋経済	1
名古屋芸術	2
名古屋商科	3
名古屋女子	10
名古屋造形	1
藤田保健衛生	1
南山	2
日本福祉	4
名城	21
東海学園	2
名古屋文理	1
愛知工科	1
愛知東邦	1
皇學館	34
鈴鹿医療科学	20
四日市	6
四日市看護医療	9
びわこ学院	1
平安女学院	1
びわこ成蹊スポーツ	2
大谷	1
京都外国語	2
京都産業	8
京都学園	1
京都女子	1
京都精華	1
京都造形芸術	3
同志社女子	1
京都ノートルダム女子	1
佛教	2
花園	1
立命館	5
龍谷	5
京都文教	3
大阪経済法科	1
大阪工業	2
大阪産業	3
大阪体育	2
大阪電気通信	1
関西	8
関西外国語	1
近畿	10
帝塚山学院	2
関西医療	1
甲南	1
神戸女学院	1
武庫川女子	1
兵庫医療	1
畿央	1
天理	1
奈良	2
川崎医療福祉	1
倉敷芸術科学	2
日本文理	1
南九州	1
三重短大	5
帝京短大	1
愛知きわみ看護	1
名古屋学芸短大	1
愛知文教女子短	1
愛知医療学院短	2
至学館大短大部	1
愛知みずほ短大	1
鈴鹿短大	2
高田短大	30
東名古屋病院附属リハビリテーション学院	1
三重中央医療セブ附属看護専門学校	7
藤田保健衛生大看護専門学校	1
三重県厚生連看護専門学校	2
三重看護専門学校	5
松阪看護専門学校	2
津看護専門学校	3
PL学園看護専門学校	1
岡波看護専門学校	1
ユマニテク医療福祉大学校	5
伊勢志摩リハビリテーション専門学校	1

災されました。日々報道される現実  
に言葉が失い、私達の価値観にも大  
きな変化がありました。毎日学校に  
通い、剣道が出来ること、それを応  
援してくれる家族がいること、仲間  
がいること。今まで当たり前前に感  
じていた様々な事に、改めて感謝の  
気持ちをもてるようになりました。  
今、中学生、高校生の私達が出来る  
ことは、今ある環境に感謝し、剣道  
も勉強もとにかく頑張り抜くことと  
あると思っています。逃げ道を作ら  
ず、努力を惜しまないことである  
と思っています。少々なことである  
と思っかけてはいけません。一生懸命  
に毎日を過ごしながら、復興を強く  
願っていたと思っています。

【インターハイ予選の結果】

- 男子団体戦 第3位 東海大会出場
  - 女子団体戦 準優勝 東海大会出場
  - 男子個人戦 第3位 紀平 航佑
  - 女子個人戦 第3位 II A 玉置 彩
- 共に、東海大会出場

女子は決勝へ進んだものの、後一  
歩のところまでインターハイを逃しま  
した。来年は男女ともにインターハ  
イに出場できるように、より一層稽古  
に励みたいと思っています。イン  
ターハイ予選当日、沢山の先輩方に  
応援に来ていただき、感謝しており  
ます。また、休日にも関わらず、道  
場に足を運び、ご指導いただいた先  
輩方、本当にありがとうございます。  
今後ともご指導の程よろしくお願  
いします。

■中・高音楽部

音楽部は中学と高校に分かれての  
活動をしています。以前は合同で練  
習していたのですが、練習内容や志  
向が中学生と高校生では一致しない  
こともあり、別々に活動をさせてい  
ます。中学はある程度の部員数を保  
つていられるのですが、高校の部員は  
減少傾向にあります。合同の練習形  
態を取っていたときにはそれほどは  
無かったのですが、分割してからは  
4年生になるときに他の部に移動し  
てしまう生徒が殆どになってしま  
いました。生徒側からすれば「合唱」  
だけではなく、いろいろな活動をす  
る機会が増えて良いのですが、合  
唱部の顧問としては寂しい気がし  
ています。

さて、昨年度、中学音楽部は初め  
て「NHK全国学校音楽コンクール」  
に出場しました。思ったより良い演  
奏ができ、参加15校中5位で銅賞を  
獲得しました。部員は今年も受賞を  
めざして練習を重ねています。また、  
三重県合唱アンサンブルコンテスト  
においては金賞を受賞でき、これも  
良い励みになっています。

高校の方は前述したように部員減  
少に悩んでいますが、三重県合唱  
アンサンブルコンテストでは銀賞を  
受賞できました。本年は更には上の賞  
をめざしたいと思っていますが、中学、  
高校ともに、あまり賞にこだわらず、  
「合唱を楽しむ」ことを優先に指導  
していきたいと思っています。

■中・高数研部

現在、中1男子11人、女子1人、  
中2男子4人、中3男子6人、4年  
男子3人、5年男子5人、6年男子  
1人の計30人で活動しています。  
活動内容としては、コンピュー  
タープログラミングを通しての数学

やアルゴリズムの研究などをしてい  
ます。平成22年、パソコン甲子園に  
おいて本選には出場できませんでした  
が、本選出場者と同等の成績であ  
る「プログラミング部門予選優秀賞」  
を獲得しました。

今年もまた、意欲的な部員が増え  
ましたので、プログラミング甲子園  
や情報オリンピックなどの大会で優  
秀な成績を獲得できるよう、クラブ  
一丸となって突き進んでいきたいと  
思います。

■中・高鉄道研究同好会

活動は主に月・水・金の放課後に  
第二体育館3階の部室で行っている。  
この部室は、高校の地歴部ならびに、  
囲碁・将棋同好会との共用になって  
おり、多くの生徒が集うと満員にな  
ることがある。現在メンバー構成は  
中学生が8人、高校生が8人の計16  
人で、他校の鉄研の例に漏れず全員  
男子生徒である。毎年夏休みを利用  
して見学・調査を兼ねた小旅行を行  
い、その成果を兼ねた小旅行を行  
を文化祭で展示している。また、メ  
ンバーが各自調べてきた鉄道の現  
況を「エクスプレス」という小冊子  
にして随時刊行している。顧問のメ  
ンバーは現在4人であり、生徒、教  
師間で互いに連携を深めながら、こ  
の同好会の継続・発展を目指してい  
る。

顧問 牛尾 記

■中・高馬術部

平成20年4月より「中学校馬術同  
好会」が活動を始め、昨年より「中  
学校馬術部」として部活動を行って  
おりますが、今年の中学新入生を迎  
えることにより、部員が中学校1年  
生から高校3年生まで、6学年が全  
て揃うことになりました。中学校1

年生8名、2年生9名、3年生2名  
高校1年生4名、2年生4名、3年  
生3名の部員数30名で毎日休みなく  
馬の世話から厩舎作業、練習を行っ  
ております。新しい施設での活動が  
始まり、1年半が過ぎました。すば  
らしい施設の中で中学生の成長は早  
く、2年生は、それぞれみんななか  
りうまくなりました。中には競技会  
で優勝、入賞も出来るようになりま  
した。3年生は男女1名ずつですが、  
兩名とも競技会での成績は昨年から  
出てきており、他の乗馬クラブの大  
人顔負けに優勝、入賞しております。

高校馬術部は、この4月より4年  
生（高校1年生）に、2名の女子部  
員が中学校より進級しました。中学  
校馬術同好会の初めての部員である  
彼女たちも、中学3年間でかなりの  
レベルまで成長しました。これから  
の高校3年間で馬術を楽しむことは  
もちろん、いかに競技会で結果を残  
せる騎乗ができるようになるか期待  
します。この2名に加え他の新入生  
も経験者であり、高校1年生は、全  
員女子部員で全員経験者であり期待  
します。2年生も女子部員4名です。  
現在、少し伸び悩んでいますが、み  
んな馬を好み、部活動を楽しんでい  
る毎日です。3年生は、ただ一人の  
男子部員である主将の奥西と女子部  
員2名で、まだまだいまひとつまと  
まりに欠けますが、部員全員を引っ  
張っております。

さて、全国大会団体戦出場をかけ  
6月12日 愛知県森林公園にて東海  
予選が行われました。11校中5校が  
出場出来る予選会で3年生の主将奥  
西、高校4年生の丹羽、1年生の青  
山のメンバーで臨んだ結果、僅差な  
がら昨年同様、出場権を逃しました。  
2年連続での敗退は情けない結果  
です。昨年も敗退の悔しさを糧にが

■中学野球部

僕たち中学校野球部は、13人いる  
3年生を中心として練習しています。  
春の大会では力が足りず二回戦で敗  
退することになってしまいました。3  
年生最後となる夏の大会では、県  
大会出場を目標にして頑張っていま  
す。練習へ打ちこむ態度などで、顧  
問の伊藤先生にしっかりと選んで  
もらう機会があります。チームの選手  
達一人一人がそういうことについて  
しっかりと考え、行動できるように  
なってきています。そんな中で、特  
に感じる点があります。それは「思  
いやり」の心の大切さです。これは伊  
藤先生にもいつも言われていること  
で、僕ら選手達もプレー以上に大切  
なことだと最近わかってくるよう  
になりました。学校の教室で授業を受  
ける中ではあまりこういうことを学  
ぶ機会はないと思うので、部活動を  
する中で、そのようなことの大切さ  
を学べたことは一番よかったことだ  
と思います。最後の大会では今まで

んばると誓った結果がまたの敗退に  
努力不足を感じました。悔しさの残  
る気持ちの中、全国大会の個人戦  
東海予選が始まり、団体戦に出場し  
た丹羽と青山が1回戦より駒を進め  
2回戦に挑みました。兩名とも同じ  
ブロックになってしまい、丹羽は2  
回戦敗退、青山は4位・5位・6位  
決定戦へ進み、最終結果は4位とな  
り、全国大会へ5名出場できる枠に  
入りませんでした。この結果は、幼少より  
乗馬を始め、本校を選んで県外より  
高校生活はもちろろん、馬術をがんば  
るために入学した本人にとつてうれ  
しい結果だと思っています。8月17日よ  
り東京 馬事公苑で行われる全国大  
会において、よい結果が出せるよう  
大会までの練習に励んでほしいです。

学んだことをすべて出しきって悔いのないように頑張りたいと思います。

■中学卓球部

私たちは、3年生男子7人、女子6人、2年生男子12人、女子10人に加え、今年男子15人、女子21人も1年生が入部し、男女合わせて71人で活動しています。

中学卓球部は先輩も後輩も仲がよく、大人気で楽しみながら練習しています。ラリーや試合形式での練習を中心とし、卓球台が足りない時には筋トレやランニングも行っています。また、今年度になり購入した球出し用のロボットも活用しながら、段々と上達しているよう、毎日頑張っています。

昨年は男子が鎮江杯準優勝、今年も中体連春季大会ベスト8という成績です。中体連夏季大会ではベスト8を目指し、練習に励んでいきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

■中学陸上部

今年度は、3年生22名、2年生10名に加え、新入生が19名入部し、総勢51名でスタートした。

昨年度が一番の成績は、7月の全日本通信陸上三重大会において、男子400MR(3年河村天陽、3年中之宮知樹、2年松岡修平・3年中西淳貴)が0秒15という僅差でまた第2位(44秒24)：全国ランキング8位)となり、全国大会出場は夢となったが、「全国大会が全てじゃないこのチームで形に残したい」という中之宮キャプテンの一言で、目標を「三重県記録(43秒60)」に切り替え、秋に43秒51の三重県中学新記録を樹立したことがある。全国大会には出場していないが、全国ランキング第

# クラブ成績表

クラブ名	成	績	
陸上競技部	三重リレーカーニバル大会	●男子400Mリレー 3位 河村 天陽(3d)・中之宮和樹(3b) 齊藤 祐亮(3d)・中西 淳貴(3a)	
	●共通女子400MR	樋口 郁美(3b)・杉野 利恵(2b) 林 咲良(2e)・林 琴子(3b)	
	全日本通信陸上三重大会(7月22日、23日)	優勝 走り高跳び 松岡 修平(2a) 第2位 共通400mリレー 河村 天陽(3d)・中之宮知樹(3b) 松岡 修平(2a)・中西 淳貴(3a)	
	第32回 東海陸上競技選手権大会(8月10日)	優勝 走り高跳び 松岡 修平(2a) 第4位 共通400mリレー 河村 天陽(3d)・中之宮知樹(3b) 松岡 修平(2a)・中西 淳貴(3a)	
	第37回 全日本中学陸上競技選手権大会(8月22日)	第5位 走り高跳び 松岡 修平(2a)	
	第31回三重県Jr.オリンピック	●2年幅跳び 優勝 6m37 松岡 修平(2a) …全国オリンピック出場 ●2年100m 3位 松岡 修平(2a) ●3年200m 3位 中西 淳貴(3a)	
	第1回エコパトラックゲームズ(静岡陸上競技協会)	●部門C男子100m・第3位 松岡 修平(2a) ●中学生男子4×100mR・第2位 河村 天陽(3d) 松岡 修平(2a) 中之宮知樹(3b) 中西 淳貴(3a)	
	第28回三重県中学校剣道新人大会(三重県中学校体育連盟)	●男子団体・三位 ●男子個人の部・三位 松本大知(2f)	
	馬術部	みえスポーツフェスティバル(9月25日)	小障害飛越競技C 第1位 丹羽 れい(3d) マラカイト号 第2位 荒川 美鈴(3e) ボンティーノ号 小障害飛越競技C-1 第1位 村木 拓(2c) マラカイト号 Starter Class I 競技 第1位 村木 拓(2c) ノーティス号 第2位 伊藤慎一郎(2a) ノーティス号
		2010 ジャンピング イン ミエ(11月13日)	小障害飛越競技A 第3位 荒川 美鈴(3e) ボンティーノ号 小障害飛越競技C 第3位 丹羽 れい(3d) マラカイト号 小障害飛越競技C-1 第1位 伊藤慎一郎(2a) マラカイト号 第2位 村木 拓(2c) マラカイト号 小障害飛越競技C-II 第1位 村木 拓(2c) マラカイト号 Starter Class I 第1位 伊藤慎一郎(2a) ノーティス号 第3位 西山 由華(2c) ブローニー号 小障害飛越競技C-II 第2位 伊藤慎一郎(2a) マラカイト号 Starter Class II 第1位 伊藤慎一郎(2a) ノーティス号

クラブ名	成	績	
馬術部	2011新春三重県馬術大会	●小障害飛越競技B・第1位 荒川 美鈴(3e)・ボンティーノ号 第2位 荒川 美鈴(3e)・マラカイト号 ●小障害飛越競技A・第3位 荒川 美鈴(3e)・マラカイト号	
	平成22年度三重県なぎなた選手権大会	演技1位・個人1位 駒田華奈子(3c) 演技2位・個人2位 渥美 麻子(3a)	
	駒田華奈子(3c)……個人・演技・団体 渥美 麻子(3a)……演技・団体 湯川 実咲(3c)……団体 JOCジュニアオリンピックカップ第18回全国中学生なぎなた大会(7月25日・新潟県刈羽村)に出場		
なぎなた部	平成22年度全日本少年少女武道(なぎなた)錬成大会	中学生演技の部 優良賞 渥美 麻子(3a) 駒田華奈子(3c)	
	平成22年度全日本卓球選手権三重県予選大会	1年男子の部 第3位 松原 巧明(1e)	
	第十三回熱田の森 ロボット競技会	ライトレーサー部門 高校生の部 特別賞 中村 達彦(3a) 中川 貴博(3a) 水谷 維吹(3a)	
卓球部	第3回 WRO JAPAN 岐阜予選	アイデア賞 熱田 翼(2b) 麻生 航暉(2d) 森 勇人(2d)	
	8月21日 ジュニアロボコン三重大会	チームワーク賞 チーム：運送会社 森とB 2a 36 森 祥伍 審査員特別賞 チーム：ウズマクンジャー 2d 17 榊原 卓	
	11月13日(土) 三重大学第一体育館	創造アイデアロボットコンテスト三重県大会 応用部門 第3位 中学3年45期 チーム：左(ひだり) 3a 20 中川 貴博 3a 23 中村 達彦 3a 33 水谷 維吹 3c 6 荻田 凌也	
	三重ロボコン大賞 中学3年45期 チーム：交響(こうきょう)	3a 11 小辻 剛世 3c 27 藤見 一輝 3d 4 奥山 諒也	
	東海北陸地区創造アイデアロボットコンテストの出場権を獲得	12月4日(土) 東海北陸地区創造アイデアロボットコンテスト4位 中学3年45期	
	第22回アンサンブルコンテスト(三重県合唱連盟)	●金賞 高田中学校音楽部A	
	第31回全国中学生選抜将棋選手権三重県予選	女子個人 優勝 鬼頭あゆみ(2e) 8月3・4日 山形県天童市で行われた全国大会に出場	
	科 学 部	第31回全国中学生選抜将棋選手権三重県予選	女子個人 優勝 鬼頭あゆみ(2e) 8月3・4日 山形県天童市で行われた全国大会に出場

4位の好成績であった。一見無理そうなる目標を、日々達成できると信じて努力したことが形になったことが嬉しく、選手にとってもチームにとっても自信となった。また男子走高跳において、2年松岡修平が、全国大会参加標準記録を5センチ上回る1m90を跳んで鳥取全国大会に出場。1m88で第5位に入賞した。今年に向けての良い経験となった。通信の結果から東海大会に出場したリレーは第4位。この時の1・3位は全国大会でも2位・4位・5位のチームである。松岡は、1m86で優勝。また9月の三重県Jrオリンピックでは6名が8種目に入賞。中でも男子B走幅跳で、松岡は6m37で優勝。全国Jr出場を決め、6m43と記録を伸ばし、第5位に入賞した。

秋季の津市陸上大会では、男子総合2位、女子総合4位、男女総合2位と健闘し、県大会においても、男子総合4位、男女総合7位と、県入賞をした。その内訳は、男子800MR(400MRと同メンバー)が20年ぶりに津市記録更新(1分32秒81)で第2位。松岡が走高跳と三段跳で2冠。3年中西が1000m7位、2000m4位、3年河村が1100MHで7位、女子走高跳で3年坂倉央子が第5位である。

また、3年中西は、全国大会は間に合わなかったが、1000m、2000mともに全国大会の参加標準記録を突破し、2月の日本ジュニア室内陸上大阪大会に60mで出場した。高校でも陸上を続けて、今度こそインターハイ出場を目指す。

今年は、松岡が走高跳で2度目(全国小学生大会の覇者)の全国制覇を狙う。他にも可能性ある楽しみな選手がおり、全員で選手として人として強く成長してほしいと願っている。

■中学バスケットボール部

中学バスケットボール部は、男子30人、女子20人の計50人の部員と、顧問4人(真岡康光・川口裕美子・伊藤龍馬・武内見暁)で活動している。

昨年度には校舎前に外コートが完成し、太陽の下を、一生懸命にボールを追いかけて、走りまわっています。

ほとんどの生徒は、中学校からバスケットボールを始めた初心者ですが、目の前の一勝をつかみとるために、地道な練習を積み重ねています。

また、日々の活動を通じて、友達を大切にする心や、自分に負けない強い心を育てていきたいと思っています。

■中学サッカー部

3年 小野田尚輝

僕ら中学サッカー部は、3年生7名、2年生10名、1年生13名の30人で県大会出場を目標にし、日々練習をしています。僕はこのチームでキャプテンをしています。キャプテンをして感ることがあります。それはチームワークの大切さです。サッカーは1人でやるスポーツです。11人全員が一丸とならなければ勝てる試合も勝てません。春の大会ではチームがうまくまとまらず、2回戦敗退と残念な結果になってしまいました。しかし春の大会以後、全員の意識が高まってきており、練習から声を出したり、積極的に朝の練習をするなどチームがまとまりつつあります。この感じをこのまま続けたいです。

次に「感謝」を感じます。顧問の北先生は朝練に毎日来て僕らの練習を見てくれたり、試合では厳しく叱ったり、的確な指示をしてくれ

ます。またサッカーの練習後はいつもサッカーについて熱く語ったり、サッカーについて悩んでいるとき優しく言葉をかけてくれます。僕たちは、多くの方々のおかげでめぐまれた環境で練習できることに日々感謝し、一生懸命に練習しようと思っています。

もうすぐ3年生の最後の大会が近づいています。春の大会の悔しさをばねにチームワークを大切に、目の前の勝利に向かって走り続けていきたいと思っています。

■中学バレーボール部女子

私たち高田中学校女子バレーボール部は全員初心者です。なので入部当初はバレーのことが何も分からず、根性もまったくなくて、本当に0からのスタートでした。でも、今では経験者が集まるチームに勝てるまでになりました。練習は厳しくて、うまく出来ない自分もどかしい時もあるけど、今まで出来なかったことが出来るようになった時、試合で勝てた時、へこんでいる時みんなからはげましてもらった時、本当にバレーボールをしていて良かった、このチーム、このメンバーでプレイできて良かったと思います。

そして、私がバレーボールを通して学んだことは、人との協調性、努力すれば出来ないことも出来るようになるということなど、数え出したら人間としても成長させてもらいました。

私たち3年生にとってはあと二ヶ月で部活引退です。バレーボールはチーム競技なので、みんなでつなげるという気持ち、いつでも攻めるといふ気持ちをチーム全員が持たない

と絶対勝てません。また、流れやチーム内のムードも大事でそれだけで勝ち負けが決まってしまう時もありま

■中学なぎなた部

【主な戦績】

- 平成22年度全日本少年少女武道錬成大会なぎなた競技(日22・8 日本武道館)
- 中学演技の部
- 敢闘賞 駒田華奈子・渥美麻子組
- 平成23年度三重県なぎなた選手権大会(日23・4 三重武道館)
- 中学個人部の部
- 優勝 大萱花穂
- 中学演技の部
- 3位 大萱花穂・紀平知里組

※ 県選手権大会の成績により、大萱花穂選手・紀平知里選手・北原可奈子選手・後藤詩織選手が7月に浦和市で開催されるJOCジュニアオリンピックカップ全国中学生なぎなた大会の出場権を獲得した。

4月に1年生3名をむかえ、総勢10名という小人数で活動しています。練習は高校の先輩と一緒に練習しており、中学生同士では望めない、レベルの高い稽古ができています。一昨年、全国中学生大会で団体5位に入賞し、さらなる飛躍を目指して取り組んできましたが、精神面の未熟さから、昨年は思うように実力

を發揮できず、悔しいシーズンとなりました。今年は昨年のレギュラーが一気に抜け、戦力的に不安な部分が多かったのですが、新3年生が徐々にしつかり物事を行うことが出来るようになり、自覚をもって稽古に臨めるようになりました。三重県代表として今年も全国の舞台に立つことができる事を感謝しつつ、それに恥じない成績を残せる様、夏までにレベルアップをはかりたいと思っています。

■中学茶道部

「茶道」と聞いて、最初はとても近寄り難く思いましたが、決して固苦しいだけではありません。

日頃は、自分たちでお点前の勉強もしながら、お茶を点でて飲んでいきます。部員がお土産に買ってきられるお菓子を食べられることも楽しみの一つです。お茶の点て方などを後輩に指導することで、同年代だけでなく学年を越えた交流もあり、とても楽しい部活動です。

また夏休みなどの長期休暇には、顧問の先生から直接、作法を教えてくださいいただきます。厳しくも温かいご指導のもと、私たちは作法を自分ものにしてようと努力しています。

日頃とは打って変わって、文化祭ではお茶会を開きます。そのために夏休みなどを利用して一生懸命に練習をします。お茶会はお点前をする人だけでなく、半東と呼ばれる人や水屋でお茶を点てる人、案内をする人など様々な役割を担い、自分たちの仕事に責任を持って行われます。それだけでなく、部活の勧誘のためのお菓子を買いに行ったことが縁で、本校を卒業された大先輩に出会うことができました。後輩というこ

た。校内だけでなく、地域の人々からの励ましをいただいたこともあります。

私たち中学3年生が中学茶道部員として活動できるのは残りわずかです。しかし文化祭で行われるお茶会に来て下さる人たちに喜んでいただくように、正確で心こもったお作法を身につけられるように努力していきたいと思えます。

■高校野球部

マネージャー 上海道玲奈

私たち野球部は3年生18人、2年生21人、1年生13人、マネージャー5人の計57人で、先生方の熱心なご指導の下、活動しています。

新チーム結成後、残念ながら、秋季大会、春季大会共に県大会に出場することが出来ず、悔しい思いをしてきました。その悔しさを決して忘れることなく、限られた練習時間の中で、部員一人一人が良きライバル、良き仲間として日々練習に励んでいます。

今年のチームは個性が強く、57人それぞれが自分の色をもっています。時には意見の食い違いから、ぶつかり合うこともありませんが、不器用ながらも自分の意志をしっかりと相手に伝え、信頼関係を作り上げています。3年生にとって最後となる夏の大会では、野球が出来ることへの感謝の気持ちを一番と考え、心を一つにして、全員野球で一戦一戦を大切に戦っていきたいと思えます。これからも応援よろしく願います。

■高校卓球部

平成23年度三重県高校総体卓球競技兼全国総体兼東海総体三重県予選が行われました。結果は次の通り。

【シングルの部 中勢地区予選】

4月24日 津市体育館  
男子シングルスでは、ⅢE太田直希ほか計15名が予選通過。女子シングルスは第3位のⅡ1馬場彩乃ほか計9名が通過しました。

【シングルの部 三重県予選】

5月1日・2日 県営体育館  
男子シングルスでは、ⅢB宇仁田雅雄が念願の優勝。全国総体・東海総体の出場権を2年連続で獲得しました。またⅡF大野哲郎が第7位、女子シングルの5d川端真奈が第7位、ⅡF宇野はるなが第8位で東海総体の出場権を獲得しました。

【ダブルスの部 三重県予選】

5月28日 県営体育館  
男子ダブルスでは、ⅢB宇仁田雅雄・ⅢE太田直希ペアが準優勝。念願の全国総体出場権を獲得しました。また女子ダブルスではⅢA安川奏子・ⅡF宇野はるなが第4位で東海総体の出場権を獲得しました。

【団体の部 三重県予選】

5月29日・30日 県営体育館  
男子団体は、県内で最も厚い戦力をもちつ白子高校に2-3で敗れ準優勝。全国総体出場はなりませんでしたが東海総体の出場権を獲得しました。

女子団体は、大激戦の末第3位。東海総体の出場権を獲得しました。

全国総体は8月8日～14日に青森県青森市で、東海総体は6月18日～19日に静岡県湖西市で開催されます。

■高校ソフトテニス部

Ⅲ-2-36 山本 美有

私は、高田高校に入りソフトテニス部に入ったおかげで、人間としてすごく成長することができました。キャプテンである私は、仕事をすべてで全然チームをひっぱる性格ではなく、人に頼ってしまうばかりでした。だから、キャプテンに選ばれた時はうれし半面、不安な気持ちもありました。はじめは、全然指示も出せなくて自分を追い込んだ事が何回かありました。しかし、先生方のサポートやみんなのがついてきてくれたおかげで、自分で考える力、どうしたらみんなが理解してくれるのかなど、自分の心を強くする事もできました。キャプテンになつてから、自分でしっかり行動できるようになり、強気でプレーができるようになりました。キャプテンに選ばれた私についてきてくれたチームの仲間や今まで支えてくださった方々にできる恩返しは、インターハイへ行く事でした。これを目標にみんな頑張り続けた結果、最後の大会では見事インターハイへのきっぷを手にする事ができました。このきっぷを手にするまで、すごく大変でしたが、今まで一緒に練習してきた仲間の支えがあったからこそ乗り越える事ができました。そして、毎日練習にきてくださった先生方やコーチ、かげで支えてくれた家族のおかげです。テニスに対する熱い想いと、あきらめなければ本当に夢は叶うということ。そして、仲間たちの応援は、元々もっている以上の力をひき出してくれるパワーをもっているんだ、と実感した瞬間でした。ソフトテニス部に入り、この仲間や先生方に会えた事、テニスを通じて知り合えた方々に感謝しています。私にとって、ソフト

テニスをした時間は全て宝物です。

■高校硬式テニス部

硬式テニス部は、男子40名、女子15名で日々の練習を行っています。学校のコートと高田短期大学のコートに分かれながら日々、基本練習から試合形式の練習も混ぜながら楽しく取り組んでいます。今年度も1年生の男子、女子のたくさんの生徒の加入がありました。2年生、3年生が素振りや基本的な練習を指導しながらテニス部としての練習がスタートしました。7月には8月から行われる大会に向けての予選があるので、それに向けてトレーニングを行ったり、練習試合を行ったりしながら強くなっていってみたいと思っています。

■高校陸上競技部

皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。私たち陸上競技部は現在、男子39名・女子17名の56名で活動しております。

本年度は、昨年の創部以来最高の結果を修めたチームだっただけになりました。しかしながら、昨年の新チーム結成以降、県新人大会において延べ9種目に入賞し、10名が東海新人大会に出場するなど前年度のチームに匹敵するぐらいの順調な滑り出しとなり、冬季練習においても全国や近畿・東海地区の選抜合宿に参加できる選手もでてまいりました。

4月にシーズンインしてからも8名しかいないⅢ年・6年生が各大会で上位に入賞し、存在感をだしてくれました。5月27日から30日(台風のため一日順延)に開催された県高校総体(東海高校総体予選会)では、

終日風雨に悩まされながらも初日から女子のエース池田の100mハドル3位入賞(自己新記録)に始まり、最終日の男子1600mリレー6位入賞までトラックからフィールドに至るまでかけ回ってくれました。いくつかの種目では、他校の選手に競り負けた部分はありませんが、特にリレー競技において男女ともすべり決勝に残り、それぞれが東海高校総体への出場権を獲得することができたのも、チーム力が向上してきた証だと実感しております。

東海高校総体へは、5種目出場させていただきますが、ただ出場するだけでなく、東海の高いレベルの中で競り勝って結果を残していきたい選手一同気を引き締めて、早朝練習から放課後の練習の時間を集中して取り組んでおります。

また、横断幕にある「全力勝負」の言葉を胸に刻みながら、主将の小塚を中心に全国高校総体出場を勝ち取ってまいります。今後ともご指導、ご支援の程よろしくお願致します。

【主な戦績】

- 平成23年度県高校春季大会
- 男子110mハドル 準優勝
- 男子3000m障害 第6位
- 男子5000m 第8位
- 男子4x400mリレー 7位
- Ⅲ年2組 平野 茂孝
- Ⅲ年3組 増井 秀平
- 5年e組 大道 卓也
- 4年c組 中西 淳貴
- 女子100mハドル 第5位
- Ⅲ年B組 池田 円香
- 女子400mハドル 第7位

Ⅲ年B組 池田 円香  
女子4×400mリレー 第8位

Ⅲ年B組 池田 円香  
Ⅱ年F組 谷川 円香

Ⅱ年B組 奥野 成美  
Ⅰ年I組 宮路 真由

平成23年度県高校総合体育大会  
男子3000m障害 準優勝

Ⅱ年I組 村川竜也  
女子1000mハードル 第3位

Ⅲ年B組 池田 円香  
男子400mハードル 第4位

Ⅲ年A組 小塚 優  
女子4×100mリレー 第5位

Ⅲ年B組 池田 円香  
Ⅱ年F組 谷川 円香

Ⅱ年B組 奥野 成美  
Ⅰ年I組 宮路 真由

男子4×400mリレー 第6位  
Ⅲ年A組 小塚 優

Ⅱ年3組 増井 秀平  
5年e組 大道 卓也

4年c組 中西 淳貴  
女子400mハードル 第8位

Ⅲ年B組 池田 円香  
男子5000m競歩 第8位

Ⅱ年D組 福島 一輝  
女子4×400mリレー 第8位

Ⅲ年B組 池田 円香  
Ⅱ年F組 谷川 円香

Ⅱ年B組 奥野 成美  
Ⅰ年I組 宮路 真由

男子4×100mリレー 第8位  
Ⅲ年A組 小塚 優

6年e組 伊藤 祐人  
5年e組 大道 卓也

4年c組 中西 淳貴  
【6位までに入賞した選手が東海高  
校総体に出場】

■高校水泳部

高校水泳部は現在男子20名、女子  
11名の計31名で活動しています。

夏期は学校のプールをメインに、  
その他の時期は学校での筋力トレ  
ニングの他スポーツガーデンやスイ  
ミングスクールをお借りして練習し  
ています。

昨年度はこれまでと違い、年に3  
回の合宿や県外大会である浜名湾高  
校生選手権大会への出場など活動の  
幅を広げてきました。また、高体連

の練習会にも参加し、県の優勝チ  
ームの選手達とともに1日1万メー  
トルを超える距離を泳ぐなどして力  
をつけてきました。

県のトップレベルの選手達と練習  
を行ったことでキック力、持久力不  
足など自分達の弱点を改めて感じ  
ることができたとともに意気込みが  
増えました。

昨年は高体連の大会すべてにおい  
て男子総合3位、女子総合4位の成  
績を修めました。

特に男子はリレーで2位に入賞、  
200mメドレーリレーの短水路三  
重県高校記録を樹立するなど勢い  
をつけてきました。また、1名が男子  
50m自由形で沖繩インターハイに出  
場しました。自己ベスト更新はでき  
ませんが、今後につながるよ  
いレースになりました。

今年度は男子総合2位、女子総合  
3位、男子リレーでは優勝を目指し、  
チーム一丸となって練習に取り組ん  
でいます。

個人では1人でも多く東海大会や  
インターハイへ出場できるように頑  
張ってまいりますので御指導御鞭撻の  
程よろしくお願いたします。

■高校バスケットボール部

奥村杏奈・小菅愛理・下村奈々  
私たち、高田高校バスケットボ  
ール部は、男子は2年生が6人、1年  
生が6人の12人、女子は2年生3人、

1年生が9人の12人で毎日練習をし  
ています。練習内容としては、男子  
は1対1やドリブルワークを中心に  
練習し一人一人のハンドリングや技  
術の向上を目指しています。女子は、  
全員のシュート率を上げるため、毎  
日シュートメニューを中心に練習し  
ています。

男女共に3年生が引退して一ヵ月  
程が経ち、2年生を中心にして新  
チームとして活動しだし、最初は不  
安もありましたが、今では全員で支  
えあひながら、毎日練習に励んで  
います。チーム内でみんなが楽しみな  
がらも、真剣にバスケットをして、  
部員みんなが仲がよいので、一緒  
にバスケットをしていく楽しさを  
私達の目標は、県大会に出場する  
ことです。そのため男子はパスを  
確実に繋いで速く攻めることので  
きる走れるチームになれるように、  
努力しています。女子は基本的なこ  
とをしつかりして、次のプレーへと繋  
げるチームになれるように、努力し  
ています。常に声を出し、コミュニ  
ケーションをとることを大事にし、  
チーム全体のまとまり、つまり団結  
力を高めることに重点をおいていま  
す。部員数も男女共多いわけではな  
く、出来る練習内容も限られてしま  
すが、顧問の先生方も熱心に、と  
きに厳しく、優しく指導してくださ  
り、先生も部員も一つになって、一  
緒に目標に向かって日々少しずつ進  
んでいます。

も精神的にも大変な部活だと思いま  
すが、自分達の目標のため、チーム  
のために一人一人が努力しています  
お互いを高め合うために、時には厳  
しい言葉をかけてしましますが、基  
本的にはチームの仲間同士で支えあ  
い、諦めず前向きに頑張っています。  
常に明るく声を出し、積極的に練習  
することを心掛け、バレーボール部  
は一番雰囲気が良いと言われるよう  
に努力しています。顧問の先生方も  
私たち選手のことを一番に考えてい  
てくれて、練習中は常に本気で指導  
していただいています。そんな先生  
方や私たちを支えてくれてる親へ  
の恩を返すために日々努力し、チ  
ームが一つになって試合で勝てるよう  
にこれからも頑張っていきます。応  
援よろしくお願いたします。

【主な戦績】  
○平成22年度全国高等学校総合体育  
大会なぎなた競技（H22・8 那  
覇市）  
演技の部 予選リーグ2戦2勝  
決勝トーナメント進出（ベスト  
32）  
○平成22年度三重県高校なぎなた新  
人大会（H23・1 皇學館高校）  
団体の部 優勝  
※第6回全国高校なぎなた選技大  
会出場権獲得  
○平成23年度三重県高等学校総合体  
育大会（H23・5 稲生高校）  
個人の部  
5位 駒田華奈子  
6位 奥田真奈佳  
8位 丹羽 智子  
8位 丹羽 智子  
渥美麻子組  
演技の部 3位 丹羽 智子  
2位 渥美麻子  
団体の部 2位  
※個人・演技・団体で東海総体出  
場権獲得  
昨年度末の全国選抜大会が東日本

■高校バレーボール部  
バレーボール部は、男女とも毎日、  
一生懸命練習に励んでいます。技術  
的な面、精神的な面、礼儀などの面  
を鍛えるため、先生方にご指導して  
いただきながら練習を行っています。  
練習の休みなどは少なく、体力的に

■高校ハンドボール部  
ハンドボールについて詳しく知ら  
ない人も多いと思いますが、オリ  
ンピック競技になるほど世界に普及し  
ているスポーツです。またハンド  
ボールは全身の筋肉、体力、持久力  
などをバランスよく鍛えることがで  
きるため、コンディション作りに利  
用されることもあります。もちろん  
身体面だけでなく、競技自体にも世  
界中で支持される理由があります。  
ハンドボールの魅力は、なんと  
いっても展開の速さです。40×20  
メートルのコートの中で、攻守が目  
まぐるしく交代します。パスとドリ  
ブルでボールをつなぎ、ディフェ  
ンスをかわしてシュートを打つとい  
う流れが基本です。ディフェンスの  
上から放たれるジャンプシュートは、  
見るものを魅了する迫力があり、ハ  
ンドボールでしか味わえません。  
現在ハンドボール部は、3年生が  
引退し、男子17名、女子6名で活動

■高校バレーボール部  
バレーボール部は、男女とも毎日、  
一生懸命練習に励んでいます。技術  
的な面、精神的な面、礼儀などの面  
を鍛えるため、先生方にご指導して  
いただきながら練習を行っています。  
練習の休みなどは少なく、体力的に

■高校バスケットボール部  
奥村杏奈・小菅愛理・下村奈々  
私たち、高田高校バスケットボ  
ール部は、男子は2年生が6人、1年  
生が6人の12人、女子は2年生3人、

大震災の影響で中止されました。死闘の末に獲得した出場権でしたので心残りがない訳ではありませんが、しっかりと切り替えて県総体に向けて調整を進めて来ました。ところが、直前に主将の奥田選手が肩を脱臼し、出場も危ぶまれる状況に陥りました。不安の中むかえた大会当日、テーピングで肩を固め、骨折覚悟で出場する主将の背中を見て、後輩達はそのものを学んだと思います。選抜大会の事もあり、これ程全国大会に行かせてやりたいと思ったことは今更でありませんでしたが、残念ながらインターハイ出場権を手にする事はできませんでした。しかし、この思いは必ず、今冬の選抜予選で、後輩達が晴らしてくれるものと思っております。その為にも日々精進を続けていこうと思えます。

■高校男子新体操部

新体操部です。本年度も部員一同部活と勉強の両立を目指し、日々練習に励んでいます。今年は1年生部員が8人入部し、練習も今まで以上に活気が出てきました。

新体操競技は、個人競技なら1分30秒、団体競技なら3分という時間の中で行われます。この短い時間の中で、今までの練習の成果を全て出しつくさなければなりません。当然ながら、競技は一回きりですので、たった一つのミスが明暗を分けることとなります。また、競技中は監督であってもアドバイスなどの声かけなどをすることができません。選手はひたすら自分を信じるほかありません。従って、技術や体力も大事ですが、ここぞという時の集中力や緊張感を打ち勝つ精神力を磨くことに重点を置き、練習をしています。さて、本年度の主たる大会とい

第61回三重県高等学校総合体育大会 東海大会・全国大会出場一覧表

平成23年5月27日(金)～29日(日)

雨天のため6月4日(土)に開催されたものもあり

部名	競技	年組	氏名	成績	東海	全国	
卓球部	男子ダブルス	B	宇仁田雄雅	2位	○	○	
		E	太田直希	4位	○	○	
	女子ダブルス	A	宇野はな	1位	○	○	
		B	宇仁田雅直	7位	○	○	
	男子シングルス	E	宇仁田雅直	7位	○	○	
		d	川端真奈	8位	○	○	
	女子シングルス	F	宇野はな	2位	○	○	
		B	太田直希				
	卓球部	男子団体	2	中川智寛			
			E	大谷希裕			
			1	藤原樹			
			C	高野季郎			
F			大森哲啓				
1			大亀伸健				
女子団体		A	安川佳奈	3位	○		
		F	宇野はな				
		d	川端真奈				
		1	東馬彩乃				
		C	白上実貴				
		B	脇寺千紘				
陸上競技部	男子3000m障害	1	村川竜也	2位	○		
	女子100mハードル	3	池田香優	3位	○		
	男子400mハードル	A	小塚円香	4位	○		
	女子400mハードル	B	池田香優	8位			
	男子5000m競歩	D	福島一輝	8位			
	男子	3	増井秀平	6位	○		
	4×400mリレー	e	中道卓也				
	女子	4	小池貴優				
	4×100mリレー	A	小塚円香	5位	○		
	男子	B	奥野美由				
	4×100mリレー	1	宮路真由	8位			
	女子	F	中道卓也				
4×400mリレー	6	伊藤優也	8位				
なぎなた部	演	5	谷川智香	3位	○		
		f	羽美子				
		b	渥美奈子	5位	○		
		e	奥田真佳	6位	○		
		f	丹羽真智	8位	○		
		6	奥田真智	2位	○		
	個	C	藤川満帆				
		f	丹羽真智				
		5	丹羽真智				
		b	渥美奈子				
		d	湯川麻実				
		4	湯川麻実				
ソフトテニス部	女子個人	2	山本唯	5位	○	○	
		4	長井唯				
		D	古野久大	3位			
		2	乙部貴桂				
		A	小野直剛				
		I	内田剛				
	男子団体	A	小野内林				
		I	小堀正				
		4	堀正				
		c	堀正				
		4	堀正				
		c	堀正				

しましては、6月の東海高校総体、7月の終わりに青森県で行われるインターハイがあります。本年度は四日市高校からライバル選手が出場してきます。個人競技のインターハイは県一人です。連続出場が途切れないように選手も必死の思いで練習しています。そして、出場はもろろですが、インターハイでの上位入賞も目指しています。

■高校バドミントン部

私たち高校バドミントン部は男子32名、女子18名で活動しています。今年度の県総体では団体戦で男女共に県大会5位入賞という結果でした。今年こそは個人戦での入賞、団体戦

でのベスト4、そして東海大会、全国大会出場という目標を果たすべく、日々厳しい練習に励んでいます。普段は高田短大の体育館を借りて練習しています。部員は高校からバドミントンを始めた者が半数を占め、基礎的な練習から応用を利かせた練習まで幅広くおこなっています。体育館は毎日使わせていただけるわけではないので、それ以外の日には外周を走ったりトレーニングをしたりして基礎体力の向上を図っています。バドミントン部には部訓というものがありません。挨拶や服装といった普段の生活での礼儀やマナー、部活動中における規則などが定められています。選手として体力・技術・精神力を鍛えるとともに、一人の人間として成長できるように努めています。まだまだ未熟なクラブではありますが、高田高校の名前を背負って

ることを自覚し、他のクラブに負けないようにチーム一丸となって頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

■高校ソフトボール部

ソフトボール部は目の前にある一試合一試合を大切に、日々練習に取り組んでいます。

以前はソフトボール同好会として練習していましたが、この4月からソフトボール部に昇格することが出来ました。その出来事は私たちにとても、顧問の先生方にとっても私達の家族にとっても大変嬉しい出来事であり、より一層練習に力を入れ、お互いに切磋琢磨しつつ、日々精進していこうという思いを強くしました。

私たちは、部活と勉強の両立、文武両道も大切にしています。大変な

こともありますが、部活の面でも勉強の面でもお互いに助け合い、支え合って頑張ることができています。これからもソフトボール部は勝てるチーム作りをめざして、協力し、時には厳しい、そして楽しい最高のチームをこれからも目指していこうと思えます。

■高校バトン部

今年、バトン部は、新入生16名を合わせ、3年生5名、2年生7名、合計28名で活動を始めました。

昨年は、マーチングバンド・バントワリング三重県大会、ならびに東海大会に出場し、銀賞を受賞することができました。高校生だけではなく、三重県内の幼児・小学生から成人まで多くが所属するクラブチームも参加し、日頃の成果を発表するこの大会に、本校バトン部が出場す

るようになってまだ日も浅く、まだまだ満足できる演技ができるには至っていませんが、年毎にバトンの技術も向上し、上級生を中心に自分たちで作り上げる演技構成も良いものになっています。今年も10月に三重県大会が開催されます。今年も昨年同様、東海大会に出場できる良い成績が求められるよう練習に取り組んでいきたいと考えています。

また、バトン部は、生徒会直属のクラブとして、応援するというテーマとしての活動をしています。夏の大会に向けて他の部活動の壮行会、野球部の応援などが具体的な活動ですが、今年は、災害に遭って未だ不自由な生活に苦労している多くの同世代の仲間たちにももちろん、自分も含めた全国の仲間たちに声援を送る思いで活動していきたいと考えています。バトン部員が明るく元気に演技をする中で、高田高等学校全体をより明るく元気に、そして生徒たちみんなが前向きに活発に生活していくことを応援していきます。

■高校軟式野球同好会

軟式野球同好会は、今春より活動を開始した部活です。メンバーは元中学野球部員の4、6年生と、今年入学した1年生です。東海大会出場に加え、文武両道を目指して意欲的に日々の練習と勉学に励んでいます。

そのような中、初の公式戦である春季総体を迎えました。初陣という緊張の中、1回戦の津高校に11-1とコールドゲームで勝利を収め、チームは波に乗りました。2回戦は強豪の三重高校であったものの、2-0と僅差で破り、東海大会出場権を賭した決勝リーグに進めることができました。練習が実を結び、

部 名	競 技	年 組	氏 名	成 績	東海	全 国
バドミントン部	女 子 団 体	II 1	水戸路 祐那			
		II 5	玉置 裕彩			
		II A	花谷 心			
		II B	松本 千明			
		II E	芝原 由衣			
		II E	森 ひろみ			
		I 6	木原 真那佳			
		I 6	木原 玉児			
		6 a	大島 悠貴	3位		
		5 b	田中 皓太			
軟式野球同好会	個 人	5 c	伊藤 博崇			
		5 c	土川 晃平			
		5 f	龍花 良典			
		4 a	加藤 史和			
		4 a	多賀 友哉			
		4 b	溝端 良健			
		4 c	佐野 正悟			
		4 c	杉本 伸也			
		4 d	山中 真一			
		4 e	伊藤 翔太			
		4 e	魚見 航平			
		4 e	高木 厚志			
		I 2	駒田 健裕			
		I 2	小山 貴陸			
		I 5	伊藤 陸			
		I B	黒田 崇郁			
		I B	永井 友士			
		I D	大竹 尚亮			
5 b	羽田 可楽					
空 手	個 人 形	III 5	田野 直樹	4位	○	

第35回全国高等学校総会文化祭(将棋部門)兼 第47回全国高等学校将棋選手権大会 三重県予選  
平成23年 5月 3日(火)

部 名	競 技	年 組	氏 名	成 績	東海	全 国
将 棋 部	個 人	6 c	久米 秀和	1位		○
		6 d	芳川 開	5位		
	男 子 団 体	6 c	久米 秀和	1位		○
		6 c	山崎 佑気			
		5 e	田中 孝志			
	女 子 団 体	III C	西村 美星	1位		○
		III 5	福森 聡子			
III 4	山路 彩乃					

第24回高校竜王戦三重県予選  
平成23年 5月 22日(日)

部 名	競 技	年 組	氏 名	成 績	東海	全 国
将 棋 部		5 e	田中 孝志	1位		○

第22回全日本高等学校馬術選手権大会東海地区大会  
平成23年 6月 12日(日)

部 名	競 技	年 組	氏 名	成 績	全 国
馬 術 部		I 2	青山 里奈	4位	○(東海ブロック代表)

第22回全日本高等学校馬術選手権大会 出場決定  
会場：東京・JRA馬事公苑  
日時：平成23年度 8月17日～19日



部 名	競 技	年 組	氏 名	成 績	東海	全 国
ソフトテニス部	女 子 団 体	III 2	山本 美有	5位		
		III 4	長井 唯			
		III A	浅井 沙紀			
		II 4	野田 玲奈			
		II 5	黒川 美穂			
		I 2	川喜田 真季			
		4 b	小坂 遥子			
		4 d	小坂 晏子			
		II 4	紀平 航	3位	○	
		II A	玉置 裕彩	3位	○	
剣 道 部	男 子 団 体	6 a	山野 将人	3位	○	
		III 2	吉田 健二			
		II A	伊藤 優太			
		II 5	宮嶋 孝航			
		II 4	紀平 航			
	女 子 団 体	II A	玉置 裕彩	2位	○	
		I 2	山田 志奈			
		II C	川本 志奈			
		II C	中山 咲			
		II 4	金見 啓衣			
新 体 操 部	個 人 競 技	III 3	増田 朋大	1位	○	○
		6 e	濱田 佳寛	2位	○	
		6 e	濱田 悠輔	4位		
		III 3	増田 朋大	1位	○	
		6 e	下村 佳寛			
	団 体 競 技	6 e	濱田 悠輔			
		III 3	中谷 大智			
		III 4	藤谷 大琢			
		6 c	泉 直樹			
		6 c	松本 和馬	2位	○	
柔 道 部	男 子 100kg以下	III 1	佐野 貴飛	4位		
		6 b	佐野 健太郎			
		6 b	森本 恭行			
			(優秀選手)			
		6 e	神田 朋樹			
		II 1	川瀬 和樹			
		II 2	庄村 圭人			
		II 2	竹本 喜太			
		II 3	鈴木 啓太			
		II 4	富田 貴司			
		II 5	奥出 浩平			
		5 a	佐藤 昌志			
		5 c	中久木 友哉			
		5 d	菅尾 志信			
		5 e	菅太田 湧士			
5 f	小林 凌					
バレーボール部	女 子	III 1	林田 尚子	5位		
		III 2	今井 彩加			
		III 2	松田 美貴			
		III 3	大木 春乃			
		III 3	三宅 花			
		III 1	中条 真歩			
		III A	中条 美穂			
		III B	平岡 美奈			
		III C	民部 佳子			
		III D	田中 美世			
		II 1	團野 志保			
		II 2	川合 友愛			
		II 2	田中 詩乃			
		II 2	中条 美紅			
		II 2	山脇 優奈			
II 3	白木 希奈					
II 4	林 夢					
バドミントン部	男 子 団 体	III 5	塚原 潤也	5位		
		III 5	淵本 雄一			
		III A	猪口 海斗			
		III B	豊田 一輝			
		III C	八木 翼			
		II 1	中村 海斗			
		II 5	黒田 亮磨			
		II A	平尾 亮磨			
		II C	高森 康宏			
		II C	千種 悠也			
女 子 団 体	III 1	内藤 美由紀	5位			
	III A	柴原 加奈				

投手を中心として持ち味である一点を守り切る野球が大舞台で発揮されました。

決勝リーグでは各ブロックを勝ち抜いた4校で行われる総当たり戦で、第1戦の鈴鹿高校戦では1-0で勝利したものの、第2戦の桑名高校戦では0-1で惜しくも敗れ、東海大会への出場権は最終戦の宇治山田高校戦に持ち越しとなりました。

創部一年目の本校が強豪校に劣らない成績を残したものの、選手の間では初黒星の悔しさが滲んでいます。宇治山田高校戦が一カ月後であることもあり、選手達は更なる闘志を燃やし、練習を重ねています。4年生が中心のまだまだ未熟なチームですが、当初から目標としていた東海大会出場を掴み取りたい。

### ■高校生花部

生花部員は現在10名で、小林滋子先生のご指導のもと、池坊華道を学んでいます。

池坊華道会では、被災地域の児童生徒への学校華道プロジェクトとして、「心に花を咲かせよう」というテーマで、被災地域の学校に送ることにしました。そこで本校生花部では、5月20日(金)部員全員で、本山専修寺に特別の許可をいただき、如来堂のお花瓶に花をいけました。

いけたのは、亡くなられた方々への供養の鎮魂花で、梅林校長が育てられた若松と菊、人々の力が合わさり「復興」という大きな美しい花が咲くことを祈った百合、「幸福な日々」という花言葉を持つアルストロメリア、私たちの愛をたくさんこめた赤と白のカーネーション、そして勇氣と努力の象徴である若々しい夏ハゼです。

いけた写真と部員たちを写真におさめ、さらに「この苦難を乗り越えてください」というメッセージを部員一人一人が心をこめて書きました。被災者の方々にこの思いが届くことを願っています。

### ■高校書道部

高校書道部は、今年度、1年生10名・2年生9名・3年生8名、合計27名でスタートしました。

書道は、個人的な活動のように思われがちですが、他の人の協力や励ましがなければより良い作品は完成しません。人一倍の集中力と根気が要求される千字文も、楷書・行書・隷書いろいろな書体で毎年だれかが挑戦しています。その達成感はまだまらないようです。途中でくじけそうになるのを助言してくれる先輩がいたり、それぞれの目標にむかって努力を重ねている友達の様子、やる気を継続する力となります。部員達は、学年・コースに関係なく、仲間として絆を深めながら、練習にうちこんでいます。

今年度は、福島県で開催される全国高等学校総合文化祭に、三重県代表作品としてⅢ年C組の百地拓也君の「争坐位文稿」が選ばれました。これも彼一人の頑張りだけでなく、部員全員が切磋琢磨した結果だと思えます。

また、「書の甲子園」として知られる国際高校生選抜書展第18回展では、東海地区団体賞の優秀校となりました。このことは、日頃の地道な鍛錬の成果が認められたのだと思っています。

毎年夏休みには、校内で集中練習を行い、その後、技術の向上と他校との交流をはかるため、三重県高等学校文化連盟主催の錬成合宿にも参

加しています。今後とも応援宜しくお願いします。

### ■高校家庭部

私たち家庭部は週2回楽しく活動しています。今、1年生が6人、2年生が11人の合計17人で学年関係なくまぎって班を組んで調理しています。1年生はバンドケーキで基礎を学び、2年生はシフォンケーキで応用を学んで1年をスタートします。その年ごとに、どのようなテーマで一年間活動していくかを決めて毎年個性のある活動をしています。ちなみに今年度は和風・洋風・中華をバランスよく作りたいたいと思っています。

夏休みには学校説明会でパウンドケーキやチーズケーキを作り、説明会に来てくれた中学3年生とその保護者の方に食べてもらいます。9月には文化祭で出店します。夏休み前からネーミングやラッピングを計画します。おいしく見えるように工夫するのはなかなか難しいですが、すごく楽しいです。当日には始まったとたん長い列ができて、早くに売り切れちゃいます。買ってくれた人たちがおいしーと言ってくると本当に嬉しく、部活をしていて良かったなあと思います。そして文化祭の後には、寺内町祭りがあり、そこにも出店させてもらっています。朝早くから準備してみんなで売りに行きます。大変ですが、とてもやりがい・達成感のある行事です。意外と調理スケジュールは厳しく大変な部活ですが、部員みんな力を合わせて良い活動を行うことができました。いいなと思っています。

### ■高校吹奏楽部

吹奏楽部は、現在1年生22名、2

年生23名、3年生16名で活動しています。

5月22日に、県総合文化センター大ホールで行われた、中勢地区吹奏楽演奏会第15回フレンドシップコンサート・イン・プラスで今年度の活動が始まりました。続く、体育祭での演奏で3年生は引退。6月より、1・2年生で新たな活動のスタートとなりました。

しかし、今年の1年生は、9割の生徒が初心者という、今までにない状態となり、今後の諸活動に向けて困難な事も多いと思います。当面は、8月の吹奏楽コンクールに向けての練習がメインとなります。今のメンバー、今のメンバー、今のメンバー、より良い演奏を目指して、日々の練習を大切にしていきたくと思っています。

### ■高校仏青インターアクト部

II E 1 3 大津 智司  
私の所属する高田高校仏青インターアクト部は長い歴史を持つ高田学苑と共に歩んできた伝統ある部活です。部は今年も新入部員を迎え、また新たな歴史の一ページを刻んでいます。

私は大した理由もないままに入部を決めました。しかし、入部し真面目に様々な活動を重ねていく中で、人の役に立つて感謝される喜びや、今まで体験することができなかった達成感を得ることができました。中学校までとは違い、自主的に活動するかを決めて、活動する活動する自分たちでどうやってその活動を行うのか考え、本気でそれに取り組んでいます。もちろん先生方のサポートも必要です。

去年の春に入部した私が参加させて頂いた学校行事や仏教行事のお手

伝い、校外での活動は、他の部員よりは少ないですが、それでも地域周辺や老人ホーム慈光院での清掃活動、地域の人たちとの交流、今年の募金活動は赤い羽根運動の他にも東北での震災に少しでも支援をと募金活動を校内で行いました。さらに、それまでしてきたボランティアの活動の報告会を他の多くの学校と一緒に行ったりもしてきました。

この様な利益を求めずに活動に勤しむ事は大人になってから行うのは難しいと思います。ですから、この高田高校仏青インターアクト部で得た経験を大切にし、先輩方、先生方の意見、アドバイスを参考にしながら、これからの部活動を一層充実させていきたいと思います。

### ■高校漫画アニメ部

漫画アニメ部は、部員26名で、平日は毎日活動しています。部員達は、先輩後輩を問わず、明るく和やかに部活動を行っています。文化祭では、例年部誌を発行しており、今年もその予定です。それに向け、先輩が後輩へ技術指導を続けており、今後、明るく目標にむかって努力できる部活であって欲しいと願っています。

### ■高校将棋部

5月4日に高田高校で行われた第47回全国高等学校将棋選手権大会三重県予選においては、団体戦では男女とも優勝、個人戦では男子優勝という輝かしい成績をおさめることができ、8月に福島で行われる全国大会に7名が出場することが決まりました。

また、5月22日に行われた高校竜王戦においても個人戦で優勝し、8月に福岡県で行われる全国大会への

出場権を獲得しました。

将棋部は、放課後2時間ほどの練習を毎日行っています。大会に向けては実戦中心の練習を行い、対局後についてはお互いの良かったところや悪かったところなどを確認しながら試合で勝てることを目標に練習に励んでいます。それぞれの生徒が、本を読みながら新しい戦法を勉強するなど一生懸命練習に取り組み、中学生、高校生の区別もなく日々楽しく練習しながら実力の向上に向け取り組んでいます。興味のある生徒のみなさんは、是非部活動を見学して下さい。

■高校俳句部

昨年俳句部は、応援して下さいの皆様のおかげで、松山俳句甲子園に9年連続出場を果たすことができました。ありがとうございました。今年も本大会への出場を目指し、部員たちは、句作に、ディベートの練習に励んでいます。今年、3月の大震災の影響で、地方で行われる大会(予選)が中止となり、本大会への出場の審査によって大会への出場が決定するという方法に変わりました。今まで参加した本大会で、部員たちは俳句を仲立ちに、多くの友達、仲間を得て交友を重ねています。その中には、今回、被災した仲間もいます。その仲間たちに8月には、松山で元気に再会することができるよう、自分たちの連続出場を果たすことを目指し頑張っていきたいと考えています。

また昨年は、その他全国で催されている多くのコンテストで、部員たちが良い成績を収めることができました。

パイプ椅子並べて卒業式は明日  
品川 由衣(6年)

第3回田辺聖子文学館ジュニア文学賞俳句部門においても6年の品川由衣が高校の部最優秀賞に選ばれました。多くの応募作の中から選出された大変名誉なことです。これは、月刊俳句界2011年6月号(文学の森)で紹介されました。また、同誌には、「子ども俳句」のページがあり、部員の句が掲載されました。

活動は、中学俳句同好会とともに行っており、今年も中学生も含めて4人の新入部員をむかえました。俳句甲子園はもちろんです、日頃の句作を重ね、より充実した活動をしていきたいと考えています。

■高校囲碁同好会

顧問 水野知行 松山智道  
囲碁同好会は、7年前に発足し、その一年後、5年生だった小野亮佑君が県大会個人戦で二位となり県代表に選ばれ、また秋の県大会団体戦では三位でした。今年の部員数は、高校1年生が一人、高校2年生が五人(女子一人)、高校3年生が三人です。部長は6年生の吉川開君で、彼は昨年の県大会で優秀選手となり、近畿高等学校総合文化祭の県団体メンバーにも選ばれました。また、今年の県大会団体戦では吉川開、塚脇英嗣、栢原悠樹のメンバーで三位という輝かしい成績を収めました。

活動は、月曜日から金曜日の放課後、第二体育館三階の部室でおこなっています。春と秋の二回、県高等学校囲碁連盟による段級位認定大会が催されますので、各部員は昇段昇級を目指して、練習対局に熱が入っています。



進路状況と  
キャリア支援について

キャリア支援センター

平成22年度の進路状況について報告致します。

子ども学科卒業生一五三名の進路先は、幼稚園21名、保育園・保育施設107名、企業7名が就職し、4年制大学への編入学2名、家事従事等5名でした。幼稚園教諭・保育士の専門職としての就職者は95%を占め、例年通りの高率となっています。

四回生19名が卒業した人間介護福祉学科では、就職者は老人介護施設8名、障害者支援施設3名、他は4年制大学入学1名・編入学5名、就職活動継続1名でした。

毎年一般企業への就職者が大半を占めるオフィス情報学科の卒業生五七名の業種別による内訳は、建設業5名、製造業6名、運輸・情報通信業4名、卸小売業8名、金融・保険業6名、医療・福祉12名、サービス業等16名、他は4年制大学編入学1名、同研究生1名でした。

最近数年間の本学卒業生の就職動向として、県内各地の公立私立幼稚園・保育園にその大半がお世話になる保育者としての就職や介護施設からの求人需要が絶えない介護職として勤める堅調さに比べ、一般企業・公務員等への就職希望の実現は、雇用環境の厳しい状況の中で、学生から社会人へ巣立つための就職活動において高い関門となっています。最近(5月24日)公表された国の就職

率統計では、今春卒業した大学生の就職率は91.1%で、統計開始の1997年以降最低を記録しました。また、同日の報道では、民間就職情報会社、来年3月卒業予定者に対しての民間企業の求人倍率も低水準で、各企業の採用意欲は依然として回復感が乏しいと予想されています。

本学の就職率は、各幼稚園・保育園・施設・企業、高田学苑関係者の皆様方のご支援のお陰で高い水準を維持できておりますが、変化の激しい社会情勢においても、高短生の進路希望が従前と同様に実現できず、学生一人ひとりに応じたきめ細かなキャリア支援に一層努めたく存じます。

例えば、学生の多くが地元での就職を希望していますので、県内各地における求人開拓を積極的に進める一方、入学当初からの進路意識、就業意欲の向上や就職活動準備についての情報提供等の充実を図っています。また、平成21年度より取り組んできました「キャリアアカルテを用いた生涯就職支援システムの構築」により開発したWEBサイト上のネットワーク「高短キャンパスネット」を今年度から本格的に運用し、教職員等の指導体制・組織力を高めるとともに、各学生が携帯電話やパソコン等の端末を用いて、短大生としての学士力、キャリア形成力を育成し、就職活動においてはより的確に必要な情報が把握できるように整備を進めています。

今後高短生の進路希望・就職希望の実現のため、学苑同窓生の皆様方のご協力、ご助力をよろしくお願い致します。

率統計では、今春卒業した大学生の就職率は91.1%で、統計開始の1997年以降最低を記録しました。また、同日の報道では、民間就職情報会社、来年3月卒業予定者に対しての民間企業の求人倍率も低水準で、各企業の採用意欲は依然として回復感が乏しいと予想されています。

■短大都会だより

北端 一子

東北の地震の教訓から、小学校で地震から津波対策としての避難訓練を実施すると聞きました。一年生から六年生まで六百人余りの人数が、先生の誘導のもと、西側で高台の中学校までヘルメットをかぶり、避難道へ進みました。地下道を通って国道を渡り、信号の所では保護者の方や交通安全協会のボランティアの皆さんの協力がありました。この行事が、家族の防災に関する話し合いの議題になり、集まる場所や逃げる場所の確認など改めて再確認し合ったということでした。一人一人が、いつも意識して生活をしなければならぬと反省しました。皆様もきっと家族での話し合いがあったことでしょうね。

さて、短大都会は、年三回の役員会と高短祭でのバザーを今年も計画しております。今年の第一回の役員会が四月にありました。近況報告では、乳幼児教育の現実と、これからの社会の方向性などの話から始まり、同窓生からの要望やこれからの行事について話し合いました。その結果、バザーの収益金を、今まで各クラスで実施する同窓会開催の通信費の一部に利用していただきましたが、最近では、メールの活用から通信費だけでは利用しにくいという要望から、会場費やプレゼント代など、飲食費以外の費用に利用してもらったかどうかということになりました。今年度からの実施になります。理事の皆様方には、後日新しい手続きの書類を送りますので、各クラスの同窓会開催にご利用ください。詳しいことや分からない事がありましたら、短大同窓会に連絡してください。卒業

してからなかなか会う機会が少ない  
 と思いますので、高短祭を一つの機  
 会としてとらえ、同窓会を開催した  
 らうでしょうか？先生方にも会え  
 ますよ。  
 今年も高短祭に、バザーを開催し  
 ますので、同窓会の皆様、何品でも  
 いつでもよろしいですので短大まで  
 持ってきていただけると、とても有  
 り難いです。生物や賞味期限消費期  
 限が過ぎたものはひかえてください。  
 ご協力をよろしくお願いいたします。

平成22年度退職教職員

- |                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| 井上 上 坂 東 永 古 細 油 吉 | 井上 上 坂 東 永 古 細 油 吉 |
| 黒野 上 部 寺 井 林 野 田 田 | 黒野 上 部 寺 井 林 野 田 田 |
| あか 出 勝 真 泰 道 敏 興   | あか 出 勝 真 泰 道 敏 興   |
| 美津 一 美 創 美 郎 彦 和 治 | 美津 一 美 創 美 郎 彦 和 治 |

国際交流委員会

メルボルン姉妹校との国際交流

3・11を海外で知る

オーストラリアの姉妹校との交流  
 が始まって17年目、17回目となった  
 メルボルン・パレードカレッジとセ  
 ントモニカ校への留学、ホームステ  
 イが、3月11日から25日まで実施さ  
 れた。今回は因信也先生を団長に水  
 野知、梅川（以上3名パレード校）、  
 麻田、武内（以上2名セントモニカ  
 校）の5名の教員が引率し、生徒34  
 名が参加した。

ところで中部国際空港からシンガ  
 ポール航空で飛び立った（3月11日  
 （金）の午前11時）、その日の午後  
 あの未曾有の大地震が起こり、交通  
 機関にも支障が出たので、出発が半  
 日後れていれば、大きな混乱が生じ  
 ていたところであった。

私たち一行が地震と津波による震  
 災について知ったのは、その夜、乗  
 り継ぎのために降り立ったシンガ  
 ポールのチャングキ空港で、外国の旅  
 行者が知らせてくれたことによつて  
 であった。

メルボルンについて最初の3日間  
 は連休のためホームステイをしたホ  
 ストファミリーとともに過ごした。  
 ホストのみなさんは私たちをあたた  
 かく迎え、心からのもてなしをして  
 くださったが、現地のテレビや新聞  
 に届くニュースのトップ一面は一週  
 間ほどの間、連日東日本大震災に関  
 するものばかりであった。被災地の  
 様子や原発事故の動向についてもど  
 かしい思いでそれをながめていた。  
 姉妹校の先生方やホストの方々から  
 もお見舞いのことばをかけていただ

いた。  
 その一方で生徒たちは留学中、充  
 実した日々を過ごすことができた。  
 姉妹校での授業参加のほか各地への  
 郊外学習——ソプリンヒル（金鉱野  
 外博物館）やヒールズビル・サンク  
 チュアリの見学を通じてオーストラ  
 リアの歴史や自然に触れたり、ピク  
 トリアマーケットで買い物実習をし  
 たり——によって見聞を広げるとも  
 に交流を深めることができた。パ  
 レードのジム先生が先頭を切って参  
 加、指導してくださったサーフィン  
 実習も、かけがえのない忘れがたい  
 経験であった。何よりもホストの人  
 と人との強いきずなを結ぶことがで  
 きたことが大きな収穫であった。

国際交流プログラムは、毎年毎年  
 このような個々の交流をつむぎ、そ  
 れを伝え伝えて長年にわたって続  
 いているのであった。

メルボルンを発つ前日にはお別れ  
 パーティが行われた。パレード校に  
 は日本語の授業を受け持っている日  
 本人のD.e.m.c.o有理先生がいらつ  
 しゃり、何かとお世話になったのだ  
 が、彼女がクラスの生徒に呼びかけ  
 て、震災への見舞いと復興を祈るた  
 めに、数日のうちに折り鶴を折って  
 くれた。お別れパーティで千羽鶴  
 の手渡しとデムコ先生のスピーチが  
 行われた。ヒロシマのサダコ折  
 鶴のエピソードを含めて、被災地へ  
 の熱い思いを話していただいた。日  
 本を離れて海外で暮らす日本人の日  
 本への思いと行動力に心打たれたこ  
 とであった。（水野記）

報 告

- |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 九光    | 味岡    | 長谷部   | 増田    | 山田    | 川合    | 大河内   | 小西    | 津賀    | 小田    | 戸田    | 近藤    | 一近    | 後藤    | 青木    | 草野    | 駒田    | 馬場    | 高橋    | 吉田    | 荻原    | 村田    | 村田    | 村田    |       |
| 昌俊    | 見了    | 武尚    | 市男    | 教市    | 芳二    | 淳二    | 郎     | 郎     | 郎     | 郎     | 郎     | 郎     | 郎     | 郎     | 郎     | 郎     | 郎     | 郎     | 郎     | 郎     | 郎     | 郎     | 郎     | 郎     |
| (S12) | (S13) | (S15) | (S21) | (S21) | (S21) | (S16) | (S16) | (S16) | (S16) | (S16) | (S18) | (S18) | (S19) | (S20) |
| 専門卒   | 〃     | 〃     | 〃     | 〃     | 〃     | 〃     | 〃     | 〃     | 〃     | 〃     | 〃     | 〃     | 〃     | 〃     | 〃     | 〃     | 〃     | 〃     | 〃     | 〃     | 〃     | 〃     | 〃     | 〃     |
| 佐藤    | 尾崎    | 村田    | 増田    | 中村    | 小田    | 村上    | 落合    | 豊田    | 原田    | 尾藤    | 藤谷    | 嶋松    | 平松    |
| 雅治    | 淨明    | 日出    | 昌二    | 弘哲    | 智英    | 正次    | 光誠    |
| (S24) | (S25) | (S28) | (S29) | (S30) | (S34) | (S34) | (S34) | (S34) | (S34) | (S35) |
| 〃     | 〃     | 〃     | 〃     | 〃     | 〃     | 〃     | 〃     | 〃     | 〃     | 〃     | 〃     | 〃     | 〃     | 〃     | 〃     | 〃     | 〃     | 〃     | 〃     | 〃     | 〃     | 〃     | 〃     | 〃     |
| 卒     | 卒     | 卒     | 卒     | 卒     | 卒     | 卒     | 卒     | 卒     | 卒     | 卒     | 卒     | 卒     | 卒     | 卒     | 卒     | 卒     | 卒     | 卒     | 卒     | 卒     | 卒     | 卒     | 卒     | 卒     |

大橋達郎様 藍綬褒章ご受賞

(昭和32年3月高校生)

事務局だより

津市選挙管理委員会委員長として永年にわたり、  
 公衆の利益に尽くされた立派な行為、功績に対し  
 て藍綬褒章をご受賞されました。  
 誠にめでとうございます。ますますご健康で、  
 今後とも一層ご活躍されますよう祈念いたします。  
 大橋様は同窓会役員として運営にご尽力されて  
 います。

